

SAMPLE

# データセンター 調査報告書 2014

---

Data Center Research Report 2014

データセンター完全ガイド [監修]  
インプレス総合研究所 [編]

#### 本サンプル版の利用について

本サンプル版の配布やWebサイトへのアップロードなどの行為について特に制限はございません。ご自由にご利用ください。掲載データの利用については、下記「**データの利用にあたって**」の記述に準じます。ご参照ください。

なお、本サンプル版を販売するなどの商業利用は禁止いたしますのであらかじめご了承ください。

# SAMPLE

## ご注文は今すぐクリック

- お支払い方法：銀行振込（ご請求書をお送りします）
- 納期：[法人] ご発注後、3 営業日以内 [個人] ご入金確認後発送

#### 掲載データの取り扱いについて

##### ■CD-ROMの内容

本報告書のCD-ROMには以下のファイルを収録しています。

- データセンター調査報告書 2014.pdf  
本報告書の本文PDFです。  
このPDFはAdobe Acrobat XIで作成しています。Adobe Reader X以上で閲覧できます。  
お持ちでない方はアドビのホームページ(<http://www.adobe.com/jp/products/reader/>)からダウンロードしてください。
- データセンターのユーザー調査  
本調査報告書の第3章のユーザー調査結果をExcel形式で収録しています。
- ReadMe.txt  
ファイルのご利用に際しての注意事項を書いたテキストファイルです。ご利用の前にこのファイルをお読みください。

##### ■データの利用にあたって

データの利用に関し、以下の事項を遵守してください。

- (1) 社内文書などに引用する場合、著作権法で認められた引用の範囲内でご利用ください。また、その際、必ず出所を明記してください。  
例:「データセンター調査報告書 2014」(インプレス総合研究所)
- (2) 雑誌や新聞などの商業出版物に引用される場合は、下記までご一報ください。  
株式会社インプレス インプレス総合研究所  
〒102-0075 東京都千代田区三番町20番地  
電話 03-5275-9014 / FAX 03-5275-1057  
report-info@impress.co.jp
- (3) 紙面、データ、その他の態様を問わず、本報告書に掲載したデータを利用して本製品と同一または類似する製品を製作し、頒布することを禁止します。
- (4) 本製品(およびその複製物を含む)を、当社の書面による承諾なしに第三者に譲渡、転売、貸与または利用許諾することを禁止します。
- (5) お客様が法人である場合、その法人内に従事する者のみ使用できます。

※なお、株式会社インプレスおよび著作権者は本データの利用により発生したいかなる損害につきましても、一切責任を負いません。

##### ■商標などについて

本報告書に登場する商品名・サービス名は、一般に各社の商標または登録商標です。  
本文中は™マークまたは®マークは明記していません。  
掲載したURLは2014年9月8日現在のものです。サイトの都合で変更されることがあります。  
あらかじめご了承ください。

本書は、株式会社インプレスによる国内唯一の専門媒体『データセンター完全ガイド』監修のもと、データセンターの市場動向、実際に提供されているサービスの動向、ユーザー企業の利用動向をまとめた調査報告書である。2007年に第1回目を発行し、8年目を迎えた。2007年以前から同媒体が蓄積してきた資料、データ、知見をもとに、過去から現在までのデータセンター産業の変遷、そして将来に向けた動きまで網羅することを目的としている。

第1章の「市場概況」では、『データセンター完全ガイド』が日々のニュースや業界トレンド、独自の取材活動で入手した情報などの豊富な知見をベースに、データセンターに関する最新動向やトピックスをビジネスとテクノロジー、2つのトレンドを解説。ビジネストレンドでは「データセンターの新設状況」「データセンターに期待されるニーズ」「国内データセンターが生き残るためのビジネスモデル」、テクノロジートレンドでは「運用管理の自動化とコスト削減」「ネットワークの自動化」「ネットワーク機器とアーキテクチャの変化」などについて市場を概観している。

第2章の「データセンターサービス分析」では、市場で実際に提供されているデータセンターサービスの調査結果を掲載している。2014年8月までに同媒体が収集した最新173サービスの基本スペックや付加価値オプション、特長などを調査。『データセンター完全ガイド』のサイトや雑誌版に掲載したデータをさらに多角的に分析している。最新データの分析に加え、2010年から2014年までの時系列の分析も掲載。総床面積や総ラック数、回線総量、IX・ISP、所在地などの基本スペック、ラック料金や回線料金といったサービス利用の料金も掲載している。

第3章の「利用企業動向調査」では、データセンター利用企業を対象としたアンケートの調査結果を掲載している。調査は、2014年8月に利用企業の担当者208人を対象に実施し、データセンターの利用状況や選定理由、支払っている金額、満足度、満足な点、不満な点などをまとめて掲載している。

第4章の「データセンターへ見積依頼・資料請求した担当者への調査」では、『データセンター完全ガイド』の資料請求・見積依頼サービス利用者に対して追跡調査を実施。その後の採用状況や予算、採用において重視した点、採用にあたってのハードルなどをまとめている。

第5章の「データセンターサービス一覧」では、第2章の元データとなっている日本国内におけるデータセンターサービスの連絡先やサービス仕様と特長などを、一覧形式で掲載している。

本書では、「データセンターの基本スペックやサービス費用」などの詳細な調査結果を盛り込んでおり、データセンターサービスが進むべき方向性を豊富なデータから読み取れるようにしている。本書がみなさま方のビジネスのお役に立てれば幸いである。

2014年9月

株式会社インプレス  
インプレス総合研究所

<b>第1章 市場概況</b> .....	<b>13</b>
1.1 ビジネストレンド.....	14
1.1.1 データセンター新設状況.....	14
■ 低成長時代を迎えたデータセンター市場.....	14
■ 都市型と郊外型という区分の見直し.....	15
■ 設備の標準化と差別化.....	17
1.1.2 今後のデータセンターに期待されるニーズとは？.....	18
■ BCP/DR のマジョリティー.....	18
■ 携帯デバイスのビジネス活用に安全性を提供する VDI.....	18
■ ビッグデータから IoT へ.....	19
1.1.3 国内データセンターが生き残るためのビジネスモデル.....	20
■ 世界規模でのデータセンター市場の動向.....	20
■ 自治体がデータセンター誘致に期待するもの.....	22
■ AWS エコシステムの興隆が国内データセンター事業者に与えるインパクト.....	24
■ 高度のクラウド対応がデータセンターの価値に.....	26
1.2 テクノロジートレンド.....	28
1.2.1 運用管理の自動化とコスト削減.....	28
■ セルフサービス・プロビジョニングの実現.....	28
■ ツールの選定状況.....	30
1.2.2 ネットワークの自動化.....	30
■ 統合型 SDN コントローラの出現.....	33
1.2.3 ネットワーク機器とアーキテクチャの変化.....	35
■ 100GbE の普及状況と展望.....	35
■ ビッグデータへの対応.....	35
1.2.4 終わりに.....	36
<b>第2章 データセンターサービス分析</b> .....	<b>37</b>
2.1 本章のデータについて.....	38
2.2 基本スペック.....	39
2.2.1 回線総量.....	39
2.2.2 接続先の IX・ISP.....	41
2.2.3 データセンターの所在地.....	43
2.2.4 総床面積.....	45
2.2.5 総ラック数.....	47
2.2.6 稼動サーバー数.....	49
2.2.7 入退室認証.....	50
2.2.8 セキュリティー認証.....	52
2.2.9 常駐スタッフ数.....	54
2.3 提供サービス.....	55
2.3.1 提供サービス.....	55
2.4 サービス費用.....	59
2.4.1 ラック月額料金.....	59
2.4.2 共有回線月額料金.....	61

2.4.3	専有回線月額料金	63
2.5	クロス分析	65
2.5.1	基本スペック 総床面積と回線総量の相関	65
2.5.2	基本スペック 総床面積と総ラック数の相関	66
2.5.3	基本スペック 総床面積と稼動サーバー数の相関	67
2.5.4	基本スペック 総床面積と常駐スタッフ数の相関	68
2.5.5	サービス料金 地域別 1 ラックの平均月額料金	69
2.5.6	サービス料金 地域別 10Mbps 専有回線の平均月額料金	70
2.5.7	サービス料金 地域別 100Mbps 共有回線の平均月額料金	71

SAMPLE

### 第3章 利用企業動向調査 ..... 73

3.1	調査概要	75
3.1.1	調査概要	75
■	調査対象	75
■	対象地域	75
■	調査方法	75
■	サンプリング条件	75
■	有効回答数	75
■	調査期間	75
3.1.2	回答者（回答企業）のプロフィール	76
3.2	データセンターの利用状況	78
3.2.1	データセンターの利用用途	78
3.2.2	利用事業者ランキング	81
3.2.3	利用のきっかけ	82
3.2.4	利用しているデータセンターの個所数	86
3.2.5	データセンターの利用開始時期	89
3.2.6	データセンターの契約期間	92
3.2.7	利用している回線のキャリア	95
3.2.8	利用しているラック数	100
3.2.9	利用している回線の種類	103
3.2.10	利用している回線容量	106
3.2.11	1 ラックあたりの利用している電力容量	109
3.2.12	1 ラックで最低限必要な許容電力	112
3.2.13	利用しているサーバー台数	115
3.3	月額料金	118
3.3.1	ラックの月額料金	118
3.3.2	回線の月額料金	121
3.3.3	追加で支払っている電力料金	124
3.4	オプションサービス	127
3.4.1	利用しているオプションサービス	127
3.4.2	オプションサービスの月額料金	129
3.5	データセンターの立地	132
3.5.1	データセンターの所在地	132
3.5.2	データセンターまでの距離	134
3.5.3	データセンターまでの所要時間	137
3.5.4	データセンターの訪問頻度	140
3.5.5	データセンターを訪問する目的	143

3.5.6	オフィスとデータセンターの費用と近接性に関する意識	146
3.6	データセンターに対する評価	147
3.6.1	利用中のデータセンターの選択理由	147
3.6.2	利用しているデータセンターの満足度	154
3.6.3	利用しているデータセンターの満足な点	157
3.6.4	利用しているデータセンターの不満な点	162
3.6.5	データセンターに強化して欲しい点	167
3.6.6	データセンターに関する投資の増減見込み	171
3.7	データセンターの移転/統合意向	174
3.7.1	データセンターの移転経験の有無	174
3.7.2	データセンターの移転/統合の可能性	177
3.7.3	データセンターを移転/統合する理由	180
3.7.4	データセンターを移転/統合しない理由	181
3.8	クラウド	182
3.8.1	SaaSの利用状況	182
3.8.2	PaaSの利用状況	185
3.8.3	IaaSの利用状況	188
3.8.4	SaaSの利用目的	191
3.8.5	PaaSに魅力を感じている点	193
3.8.6	IaaSに魅力を感じている点	194
3.8.7	パブリッククラウドに対する取り組み状況	195
3.8.8	プライベートクラウドに対する取り組み状況	198
3.8.9	ハイブリッドクラウドに対する取り組み状況	201
3.8.10	クラウドに取り組む前の実現方法	204
3.8.11	クラウドサービスの採用に至らない理由	207

## 第4章 データセンターへ見積依頼・資料請求した担当者への調査..... 209

4.1	調査概要	210
4.1.1	調査概要	210
	■ 調査趣旨	210
	■ 調査対象	210
	■ 調査方法	211
	■ 有効回答数	211
	■ 調査期間	211
	■ 留意事項	211
4.1.2	回答者（回答企業）のプロフィール	212
4.2	調査結果	214
4.2.1	資料請求・見積依頼後のデータセンターの採用状況	214
4.2.2	採用・不採用決定に至るまでの期間	215
4.2.3	初期費用	217
4.2.4	月額料金	218
4.2.5	採用にあたって重視する点	219
4.2.6	採用にあたってのハードル	220
4.2.7	採用を断念した理由	221

## 第5章 データセンターサービス一覧..... 223

# 掲載資料一覧

# SAMPLE

資料 1.1.1 国内データセンター 延床総面積予測：2013年～2018年	14
資料 1.1.2 国内データセンターの新設状況	16
資料 1.1.3 世界的データセンター市場規模予測	21
資料 1.1.4 IJ GIO CHINA サービスのページ	21
資料 1.1.5 アジア各国へのデータセンター進出のための問題点	22
資料 1.1.6 ASPIC「地方公共団体データセンター誘致施策情報」サイト	23
資料 1.1.7 クラウドシェアの変化	24
資料 1.1.8 AWSのエコシステムを支える充実したツール類( <a href="http://aws.amazon.com/jp/tools/">http://aws.amazon.com/jp/tools/</a> )	25
資料 1.2.1 OpenStack のページ	29
資料 1.2.2 SDN のアーキテクチャ	31
資料 1.2.3 ホップ・バイ・ホップとオーバーレイ(トンネル)方式	32
資料 1.2.4 OpenDaylight のページ	34
資料 2.2.1 回線総量の回答状況	39
資料 2.2.2 回線総量の推移	39
資料 2.2.3 回線総量の合計と1サービスあたりの平均回線総量の推移	40
資料 2.2.4 接続先のIX・ISPの回答状況	41
資料 2.2.5 接続先のIX・ISP	42
資料 2.2.6 所在地の回答状況	43
資料 2.2.7 所在地数の合計と1サービスあたりの平均所在地数(折れ線グラフ)の推移	43
資料 2.2.8 都道府県別データセンターの所在地数(降順)	44
資料 2.2.9 都道府県別データセンターの所在地数(全国地図)	44
資料 2.2.10 総床面積の回答状況	45
資料 2.2.11 総床面積の推移	45
資料 2.2.12 総床面積の合計と1サービスあたりの平均総床面積の推移	46
資料 2.2.13 総ラック数の回答状況	47
資料 2.2.14 総ラック数の推移	48
資料 2.2.15 総ラック数の合計と1サービスあたりの平均総ラック数の推移	48
資料 2.2.16 稼働サーバー数の回答状況	49
資料 2.2.17 稼働サーバー数の推移	49
資料 2.2.18 入退室認証の回答状況	50
資料 2.2.19 入退室認証(複数回答)	51
資料 2.2.20 セキュリティー認証の回答状況	52
資料 2.2.21 セキュリティー認証(複数回答)	53
資料 2.2.22 常駐スタッフ数の回答状況	54
資料 2.2.23 常駐スタッフ数の推移	54
資料 2.3.1 提供サービスの有無	55
資料 2.3.2 提供サービスの有無の推移(1/2)	57
資料 2.3.3 提供サービスの有無の推移(2/2)	58
資料 2.4.1 ラック月額料金の回答状況	59
資料 2.4.2 ラック月額料金	60
資料 2.4.3 1ラックの月額料金の推移	60
資料 2.4.4 共有回線月額料金の回答状況	61
資料 2.4.5 共有回線月額料金	61
資料 2.4.6 10Mbps 共有回線月額料金の推移	62
資料 2.4.7 100Mbps 共有回線月額料金の推移	62
資料 2.4.8 専有回線月額料金の回答状況	63

資料 2.4.9 専有回線月額料金	63
資料 2.4.10 10Mbps 専有回線月額料金の推移	64
資料 2.5.1 総床面積と回線総量の相関	65
資料 2.5.2 総床面積と総ラック数の相関	65
資料 2.5.3 総床面積と稼働サーバー数の相関	67
資料 2.5.4 総床面積と常駐スタッフ数の相関	68
資料 2.5.5 地域別 1 ラックの平均月額料金	69
資料 2.5.6 地域別 10Mbps 専有回線の平均月額料金	70
資料 2.5.7 地域別 100Mbps 共有回線の平均月額料金	71
資料 3.1.1 従業員規模(プロフィール)	76
資料 3.1.2 売上規模(プロフィール)	76
資料 3.1.3 業種(プロフィール)	76
資料 3.1.4 地域(プロフィール)	77
資料 3.1.5 上場区分(プロフィール)	77
資料 3.2.1 データセンターの利用用途(複数回答)	79
資料 3.2.2 売上規模別データセンターの利用用途(複数回答)	79
資料 3.2.3 業種別データセンターの利用用途(複数回答)	80
資料 3.2.4 地域別データセンターの利用用途(複数回答)	80
資料 3.2.5 利用しているデータセンター事業者ランキング	81
資料 3.2.6 利用のきっかけ(複数回答)	82
資料 3.2.7 売上規模別利用のきっかけ(複数回答)	83
資料 3.2.8 業種別利用のきっかけ(複数回答)	84
資料 3.2.9 地域別利用のきっかけ(複数回答)	85
資料 3.2.10 利用しているデータセンターの個所数	86
資料 3.2.11 売上規模別利用しているデータセンターの個所数	87
資料 3.2.12 業種別利用しているデータセンターの個所数	87
資料 3.2.13 地域別利用しているデータセンターの個所数	88
資料 3.2.14 メインデータセンターの利用開始時期	89
資料 3.2.15 売上規模別メインデータセンターの利用開始時期	90
資料 3.2.16 業種別メインデータセンターの利用開始時期	90
資料 3.2.17 地域別メインデータセンターの利用開始時期	91
資料 3.2.18 メインデータセンターの契約期間	92
資料 3.2.19 売上規模別メインデータセンターの契約期間	93
資料 3.2.20 業種別メインデータセンターの契約期間	93
資料 3.2.21 地域別メインデータセンターの契約期間	94
資料 3.2.22 利用している回線のキャリア	96
資料 3.2.23 売上規模別利用している回線のキャリア	97
資料 3.2.24 業種別利用している回線のキャリア	98
資料 3.2.25 地域別利用している回線のキャリア	99
資料 3.2.26 利用しているラック数	100
資料 3.2.27 売上規模別利用しているラック数	101
資料 3.2.28 業種別利用しているラック数	101
資料 3.2.29 地域別利用しているラック数	102
資料 3.2.30 利用している回線の種類	103
資料 3.2.31 売上規模別利用している回線の種類	104
資料 3.2.32 業種別利用している回線の種類	104
資料 3.2.33 地域別利用している回線の種類	105
資料 3.2.34 利用している回線容量	106
資料 3.2.35 売上規模別利用している回線容量	107
資料 3.2.36 業種別利用している回線容量	107



資料 3.2.37	地域別利用している回線容量	108
資料 3.2.38	1 ラックあたりの利用している電力容量	109
資料 3.2.39	売上規模別 1 ラックあたりの利用している電力容量	110
資料 3.2.40	業種別 1 ラックあたりの利用している電力容量	110
資料 3.2.41	地域別 1 ラックあたりの利用している電力容量	111
資料 3.2.42	1 ラックで最低限必要な許容電力	112
資料 3.2.43	売上規模別 1 ラックで最低限必要な許容電力	113
資料 3.2.44	業種別 1 ラックで最低限必要な許容電力	113
資料 3.2.45	地域別 1 ラックで最低限必要な許容電力	114
資料 3.2.46	利用しているサーバー台数	115
資料 3.2.47	売上規模別利用しているサーバー台数	116
資料 3.2.48	業種別利用しているサーバー台数	116
資料 3.2.49	地域別利用しているサーバー台数	117
資料 3.3.1	ラックの月額料金	118
資料 3.3.2	売上規模別ラックの月額料金	119
資料 3.3.3	業種別ラックの月額料金	119
資料 3.3.4	地域別ラックの月額料金	120
資料 3.3.5	回線の月額料金	121
資料 3.3.6	売上規模別回線の月額料金	122
資料 3.3.7	業種別回線の月額料金	122
資料 3.3.8	地域別回線の月額料金	123
資料 3.3.9	追加で支払っている月額電力料金	124
資料 3.3.10	売上規模別追加で支払っている月額電力料金	125
資料 3.3.11	業種別追加で支払っている月額電力料金	125
資料 3.3.12	地域別追加で支払っている月額電力料金	126
資料 3.4.1	利用しているオプションサービス	128
資料 3.4.2	オプションサービスの月額料金	129
資料 3.4.3	売上規模別オプションサービスの月額料金	130
資料 3.4.4	業種別オプションサービスの月額料金	130
資料 3.4.5	地域別オプションサービスの月額料金	131
資料 3.5.1	利用しているデータセンターの所在市区町村	132
資料 3.5.2	利用しているデータセンターの所在都道府県	133
資料 3.5.3	データセンターまでの距離	134
資料 3.5.4	売上規模別データセンターまでの距離	135
資料 3.5.5	業種別データセンターまでの距離	135
資料 3.5.6	地域別データセンターまでの距離	136
資料 3.5.7	データセンターまでの所要時間	137
資料 3.5.8	売上規模別データセンターまでの所要時間	138
資料 3.5.9	業種別データセンターまでの所要時間	138
資料 3.5.10	地域別データセンターまでの所要時間	139
資料 3.5.11	データセンターを訪問する頻度	140
資料 3.5.12	売上規模別データセンターを訪問する頻度	141
資料 3.5.13	業種別データセンターを訪問する頻度	141
資料 3.5.14	地域別データセンターを訪問する頻度	142
資料 3.5.15	データセンターを訪問する目的(複数回答)	143
資料 3.5.16	売上規模別データセンターを訪問する目的(複数回答)	144
資料 3.5.17	業種別データセンターを訪問する目的(複数回答)	144
資料 3.5.18	地域別データセンターを訪問する目的(複数回答)	145
資料 3.5.19	オフィスとデータセンターの費用と近接性に関する意識	147
資料 3.5.20	売上規模別オフィスとデータセンターの費用と近接性に関する意識	147

資料 3.5.21 業種別オフィスとデータセンターの費用と近接性に関する意識	148
資料 3.5.22 地域別オフィスとデータセンターの費用と近接性に関する意識	148
資料 3.6.1 利用中のデータセンターの選択理由(複数回答)	151
資料 3.6.2 売上規模別利用中のデータセンターの選択理由(複数回答)	151
資料 3.6.3 業種別利用中のデータセンターの選択理由(複数回答)	152
資料 3.6.4 地域別利用中のデータセンターの選択理由(複数回答)	153
資料 3.6.5 利用しているデータセンターの満足度	154
資料 3.6.6 売上規模別利用しているデータセンターの満足度	155
資料 3.6.7 業種別利用しているデータセンターの満足度	155
資料 3.6.8 地域別利用しているデータセンターの満足度	156
資料 3.6.9 利用しているデータセンターの満足な点(複数回答)	158
資料 3.6.10 売上規模別利用しているデータセンターの満足な点(複数回答)	159
資料 3.6.11 業種別利用しているデータセンターの満足な点(複数回答)	160
資料 3.6.12 地域別利用しているデータセンターの満足な点(複数回答)	161
資料 3.6.13 利用しているデータセンターの不満な点(複数回答)	163
資料 3.6.14 売上規模別利用しているデータセンターの不満な点(複数回答)	164
資料 3.6.15 業種別利用しているデータセンターの不満な点(複数回答)	165
資料 3.6.16 地域別利用しているデータセンターの不満な点(複数回答)	166
資料 3.6.17 データセンターに強化して欲しい点(複数回答)	167
資料 3.6.18 売上規模別データセンターに強化して欲しい点(複数回答)	168
資料 3.6.19 業種別データセンターに強化して欲しい点(複数回答)	169
資料 3.6.20 地域別データセンターに強化して欲しい点(複数回答)	170
資料 3.6.21 データセンターに関する投資の増減見込み	171
資料 3.6.22 売上規模別データセンターに関する投資の増減見込み	172
資料 3.6.23 業種別データセンターに関する投資の増減見込み	172
資料 3.6.24 地域別データセンターに関する投資の増減見込み	173
資料 3.7.1 データセンターの移転経験の有無	174
資料 3.7.2 売上規模別データセンターの移転経験の有無	175
資料 3.7.3 業種別データセンターの移転経験の有無	175
資料 3.7.4 地域別データセンターの移転経験の有無	176
資料 3.7.5 データセンターの移転/統合の可能性	177
資料 3.7.6 売上規模別データセンターの移転/統合の可能性	178
資料 3.7.7 業種別データセンターの移転/統合の可能性	178
資料 3.7.8 地域別データセンターの移転/統合の可能性	179
資料 3.7.9 データセンターを移転/統合する理由(複数回答)	180
資料 3.7.10 データセンターを移転/統合しない理由(複数回答)	181
資料 3.8.1 SaaS の利用状況	182
資料 3.8.2 売上規模別 SaaS の利用状況	183
資料 3.8.3 業種別 SaaS の利用状況	183
資料 3.8.4 地域別 SaaS の利用状況	184
資料 3.8.5 PaaS の利用状況	185
資料 3.8.6 売上規模別 PaaS の利用状況	186
資料 3.8.7 業種別 PaaS の利用状況	186
資料 3.8.8 地域別 PaaS の利用状況	187
資料 3.8.9 IaaS の利用状況	188
資料 3.8.10 売上規模別 IaaS の利用状況	189
資料 3.8.11 業種別 IaaS の利用状況	189
資料 3.8.12 地域別 IaaS の利用状況	190
資料 3.8.13 SaaS の利用目的(複数回答)	192
資料 3.8.14 PaaS に魅力を感じている点(複数回答)	193

資料 3.8.15 PaaS に魅力を感じている点(複数回答).....	194
資料 3.8.16 パブリッククラウドに対する取り組み状況.....	195
資料 3.8.17 売上規模別パブリッククラウドに対する取り組み状況.....	196
資料 3.8.18 業種別パブリッククラウドに対する取り組み状況.....	196
資料 3.8.19 地域別パブリッククラウドに対する取り組み状況.....	197
資料 3.8.20 プライベートクラウドに対する取り組み状況.....	198
資料 3.8.21 売上規模別プライベートクラウドに対する取り組み状況.....	199
資料 3.8.22 業種別プライベートクラウドに対する取り組み状況.....	199
資料 3.8.23 地域別プライベートクラウドに対する取り組み状況.....	200
資料 3.8.24 ハイブリッドクラウドに対する取り組み状況.....	201
資料 3.8.25 売上規模別ハイブリッドクラウドに対する取り組み状況.....	202
資料 3.8.26 業種別ハイブリッドクラウドに対する取り組み状況.....	202
資料 3.8.27 地域別ハイブリッドクラウドに対する取り組み状況.....	203
資料 3.8.28 クラウドに取り組む前の実現方法(複数回答).....	205
資料 3.8.29 売上規模別クラウドに取り組む前の実現方法(複数回答).....	205
資料 3.8.30 業種別クラウドに取り組む前の実現方法(複数回答).....	206
資料 3.8.31 地域別クラウドに取り組む前の実現方法(複数回答).....	206
資料 3.8.32 クラウドサービスの採用に至らない理由(複数回答).....	207
資料 4.1.1 データセンター完全ガイド( <a href="http://www.impressRD.jp/idc/">http://www.impressRD.jp/idc/</a> ).....	210
資料 4.1.2 従業員規模(プロフィール).....	212
資料 4.1.3 売上規模(プロフィール).....	212
資料 4.1.4 業種(プロフィール).....	212
資料 4.1.5 上場区分(プロフィール).....	213
資料 4.1.6 資料請求・見積依頼割合(プロフィール).....	213
資料 4.2.1 資料請求・見積依頼後のデータセンターの採用状況.....	214
資料 4.2.2 採用決定に至るまでの期間.....	215
資料 4.2.3 不採用決定に至るまでの期間.....	215
資料 4.2.4 継続検討中の資料請求・見積依頼からの期間.....	216
資料 4.2.6 採用状況別データセンターの初期費用(支払いまたは想定).....	217
資料 4.2.7 売上規模別データセンターの初期費用(支払いまたは想定).....	217
資料 4.2.8 採用状況別データセンターの月額料金(支払いまたは想定).....	218
資料 4.2.9 売上規模別データセンターの月額料金(支払いまたは想定).....	218
資料 4.2.10 採用にあたって重視する点.....	219
資料 4.2.11 採用にあたって重視する点.....	220
資料 4.2.12 採用を断念した理由.....	221

SAMPLE

SAMPLE

# 第1章 市場概況

SAMPLE

1.1	ビジネストrend	14
1.1.1	データセンター新設状況	14
1.1.2	今後のデータセンターに期待されるニーズとは？	18
1.1.3	国内データセンターが生き残るためのビジネスモデル	20
1.2	テクノロジーtrend	28
1.2.1	運用管理の自動化とコスト削減	28
1.2.2	ネットワークの自動化	30
1.2.3	ネットワーク機器とアーキテクチャの変化	35
1.2.4	終わりに	36

## 1.1 ビジネストレンド

SAMPLE

### 1.1.1 データセンター新設状況

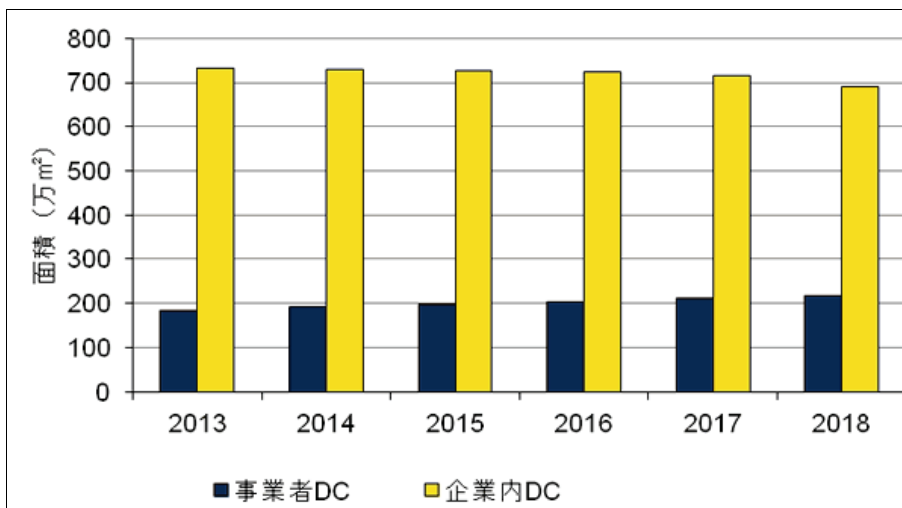
#### ■低成長時代を迎えたデータセンター市場

昨年は首都圏のデータセンターのだぶつきが懸念されたが、仮想統合によるサーバー台数の減少を上回るリソースニーズの伸びと、企業内サーバーのアウトソーシング需要によってデータセンターのニーズは横ばい程度で収まった。かつての2桁成長のようにはいかなくとも、今後はある程度の伸びが期待されている。

IDC ジャパンは「国内データセンター建設市場 2013 年の実績と 2014～2018 年の予測」のなかで、2013 年の国内データセンター新設投資規模をほぼ前年並みの 1,985 億円と発表。2018 年までに企業内データセンター延床総面積は年率 1.1%の減少を、事業者データセンターは年率 3.5%の増加を予測している（資料 1.1.1）。企業内データセンターの減少については、クラウド運用を含めた IT の複雑化の影響や BCP 対策として事業者データセンターへのアウトソーシングなどが増加しているためだが、IDC のレポートでは建設費の高騰の影響にも触れている。

また、国内データセンタービジネスの市場規模については、富士キメラ総研が「データセンタービジネス市場調査総覧」で、2013 年の 1 兆 4,439 億円から 2018 年には 121.9%増の 1 兆 7,605 億円に増加すると予測しており、IDC ジャパンによる事業者データセンター延床総面積の 5 年間予測（118.8%）と近い数字になっている。

しかし、年率 3%程度の成長率では、電気料金など原価の高騰や景気の影響で収益確保が困難になる可能性もある。やはり、従来型のハウジングモデルのみに頼るのは限界と考えると、クラウド時代に対応した高付加価値のビジネスモデル、新しいデータセンター像の開発が急がれる。



出所：IDC Japan プレスリリース (<http://www.idcjapan.co.jp/Press/Current/20140422Apr.html>)

資料 1.1.1 国内データセンター 延床総面積予測：2013 年～2018 年

## ■都市型と郊外型という区分の見直し

クラウド以前はデータセンターを都市型／郊外型という区分で見えてきた。大型コンピュータ時代の計算センターから転換したのも多い郊外型は、安い地価を背景にコストメリットに優れ、堅牢なセキュリティも構築しやすいところから、金融業や製造業をはじめとする大規模なバッチ処理ニーズなどに応えてきた。一方、都市型は駆けつけ便利なロケーションと通信の優位性を訴求ポイントに、ネット系の証券・金融やネットショップ、各種情報提供サイト、その関連企業などの人気を集めてきた。

しかし、クラウドの登場で様相は変わった。原則としてサーバーの地理的位置を選ばないクラウドは、リモート管理技術の進歩とあいまって、それまでユーザーの選択基準の大きな部分を占めてきたデータセンターの「立地」という項目から自由になった。

そうした流れのなかでまず登場したのが「地方大規模型データセンター」だ。インターネットユニシアティブ（IIJ）の松江データセンターパークやさくらインターネットの石狩データセンターがこのタイプの代表的だ。まず、地方に広大な土地を確保し、サービス（サーバー）の販売状況にあわせて棟（建屋）を増やしていく。棟はコンテナタイプや低層建築を用いて各棟個別設計のコストをカット。また、建設期間も短縮できるため、状況に素早く対応できるし、経営資源を無駄に寝かせておく必要がないため効率的な運用が実現できる。いち早いパブリッククラウド対応が功を奏し、地方大規模型データセンターの販売状況は好調なようだ。IIJ、さくらインターネットの両社も当初の計画を上回る速度で拡張を行っている。

一方、2010年前後に完成した都市型データセンターのファシリティノウハウを大手建設会社などが利用して建設に乗り出したのが「大都市近郊型データセンター」と「地方都市型データセンター」だ。前者の例としてはAGSのさいたまiDC第2センター、後者の例としては伊藤忠テクノロジーソリューションズ（CTC）のデータセンター名古屋丸の内などが挙げられるだろう。2010年以降はクラウドが進化した。一方、ここ何年もデータセンターファシリティに限れば革命的な技術は登場していない。このため、年間数十のデータセンター建設を請け負う大手建設会社では、すでに建設と調達のテンプレートを持っており、2010年以前には都心型のロケーションという付加価値を付けなくては値ごろ感が出なかったデータセンターを、建設費を抑えて建設できるようになってきている。BCP/DR ニーズで企業内サーバーをアウトソーシングする先として、東京や大阪の近郊、東阪以外の大都市も候補に挙がってきているということだろう。都内に比べれば用地確保のコストも安価だ。特に自治体のデータセンター利用では地元の活性化のために県内の物件が優先されるケースもあるため、東京周辺の県に建設するメリットも少なくない。ただし、従来型の「都市型」も、ユーザーニーズに応える形で建設は続いている。

そして、もう1つの形態が「クラウド対応大都市型データセンター」だ。これはクラウドによって増大する一方のデータセンター間トラフィックを高速に処理するため、レイテンシーを回避、回線品質を確保するためにクラウド対応データセンターを東京や大阪とその周辺に作るというものだ。マイクロソフトのAzureデータセンターの東日本リージョン、西日本リージョンや、NECの神奈川データセンターなどが挙げられるだろう。「クラウド対応大都市型データセンター」の詳細については後述するが、ここまでで挙げたようなさまざまなデータセンターサービスの住み分けアプロー

## 1.2 テクノロジートレンド

SAMPLE

ここでは、この1年で明らかになってきた技術面での新たなトレンドについて俯瞰し、データセンターサービス提供事業としてどういった技術・方向を検討すべきかのポイントと技術的な特徴、動向、将来性を紹介する。

### 1.2.1 運用管理の自動化とコスト削減

ここ数年、データセンターファシリティに関する話題としては自然冷却などの手法を活用した郊外型の高効率データセンターに注目が集まる状況が続いていたが、この流れも一段落したようだ。すでに本番稼働を開始している高効率データセンターでは PUE 値で 1.x 台の前半に達しており、もうこれ以上の効率向上は無理では、というレベルになっている。同時に、「高効率=低コスト」でないこともある、という点も明らかになってきた。無駄な電力消費が生じない点は確かに運用コストの削減につながるが、建屋を特殊な構造にしなくてはならないなど、初期投資は決して安価とは言えない。さらに、高効率というだけで追加コストを支払ってくれるユーザーは期待できず、逆に「高効率=低コスト」であるため低料金が期待される。コストをかけて高効率化を実現しても、そう簡単には収益増につながらないという図式が現実だ。

ハウジングという従来型のサービスは、実は高効率データセンターと相性が悪い面がある。電力効率を向上させるために自然冷却を採り入れたり温度/湿度の制御を緩めたりすることでマシンルーム内の環境条件は従来型のデータセンターよりも悪化する。そのため、顧客の持ち込み資産を預かるという観点からはサービス品質の低下と見なされる場合がある。とはいえ、顧客が要求する環境品質に合わせると電力効率の向上は見込めない。

従来からあるホスティングというラベルでは、どうやっても価格競争のスパイラルから抜け出しにくいという事情もあり、より高付加価値をアピールしやすいクラウドサービスの提供に踏み切る例がデータセンター事業者でも増えてきている。サービスとして提供するクラウドなら、使われるサーバーやネットワーク機器類はすべて自社資産であり、環境条件の厳しい高効率データセンターで運用しても何ら問題は起こらない。こうした流れで現在では「高効率データセンターはクラウドのためのファシリティ」という共通認識が生まれつつある状況だ。

#### ■セルフサービス・プロビジョニングの実現

クラウドサービスを低コストで提供するためには、販売・契約・集金、そして運用管理負担をできる限り軽減し、可能な限りユーザー自身によるセルフサービスでカバーできる領域を拡大していく必要がある。そのためには、適切なツールの選定と提供、高度な自動化の実装が不可欠となる。

当初は“クラウド OS”といった言葉も使われていたが、現在ではおおむね“クラウドオーケストラ”といったより機能に即した言葉が普及しつつある。さまざまなソフトウェアが既に存在



するが、現状での存在感という観点からまず事実上の標準と見なせるのが「OpenStack」、いつでももとはアジア圏のデータセンター／クラウド事業者に強みを持っていた「CloudStack」が挙げられる。

どちらもオープンソースモデルで開発が進み、名称も似ていれば実現しようとしている機能もよく似ている。ただ、CloudStack は 2011 年に一度 Citrix Systems 社に買収され、同社のプロダクトポートフォリオに組み込まれた。同社は翌 2012 年に CloudStack のコードを Apache Software Foundation に寄付し、再び主導権がオープンソースコミュニティに戻ったが、こうしたプロジェクト運営体制の度重なる変更がオープンソース開発者から嫌われたのかどうか、一貫してオープンソースとして開発が進む OpenStack に比べると最近では失速感が否めない。

一方、OpenStack の側は著名 IT ベンダー各社が相次いで支持を表明しており、オープンソースのプロジェクトではあるものの、IT 業界一丸となつての共同開発といった様相になっている。各社の製品には OpenStack 対応の API が用意されるなど、なんらかの形で OpenStack との連携機能が盛り込まれるようになってきていることから、現状では OpenStack に対応しておけばまず間違いはないと言って良い状況だ。

出所 : <http://www.openstack.org/>

#### 資料 1.2.1 OpenStack のページ

## 第2章

# データセンターサービス分析 SAMPLE

2.1	本章のデータについて	38
2.2	基本スペック	39
2.2.1	回線総量	39
2.2.2	接続先の IX・ISP	41
2.2.3	データセンターの所在地	43
2.2.4	総床面積	45
2.2.5	総ラック数	47
2.2.6	稼動サーバー数	49
2.2.7	入退室認証	50
2.2.8	セキュリティー認証	52
2.2.9	常駐スタッフ数	54
2.3	提供サービス	55
2.3.1	提供サービス	55
2.4	サービス費用	59
2.4.1	ラック月額料金	59
2.4.2	共有回線月額料金	61
2.4.3	専有回線月額料金	63
2.5	クロス分析	65
2.5.1	基本スペック 総床面積と回線総量の相関	65
2.5.2	基本スペック 総床面積と総ラック数の相関	66
2.5.3	基本スペック 総床面積と稼動サーバー数の相関	67
2.5.4	基本スペック 総床面積と常駐スタッフ数の相関	68
2.5.5	サービス料金 地域別 1 ラックの平均月額料金	69
2.5.6	サービス料金 地域別 10Mbps 専有回線の平均月額料金	70
2.5.7	サービス料金 地域別 100Mbps 共有回線の平均月額料金	71

## 2.1 本章のデータについて

SAMPLE

本章の集計に用いたデータは、データセンターサービス提供事業者に依頼し、ウェブを使った回答フォームに各社のサービス内容などを入力していただき、雑誌『データセンター完全ガイド』（インプレスビジネスメディア刊、現インプレス）に掲載したものである。

分析には 2010 年～2014 年までの 5 年分のデータを使用しており、それぞれの調査時期は下記の通りである。

2010 年 3 月	：2010 年 2 月下旬～3 月上旬	150 サービス
2011 年 6 月	：2011 年 5 月下旬～6 月上旬	156 サービス
2012 年 6 月	：2012 年 5 月下旬～6 月上旬	164 サービス※1
2013 年 7 月	：2013 年 5 月下旬～7 月上旬	169 サービス※1
2014 年 8 月	：2014 年 5 月下旬～8 月初旬	173 サービス

なお、本文グラフ中で調査時期が明記されていないグラフは、2014 年 8 月のデータを集計したものである。

本文グラフ中の表記で「未回答」となっている項目は、調査時点でデータセンターサービス提供事業者よりデータを取得できなかった項目を表す。同様に「非公開」となっている項目は、データセンターサービス提供事業者がデータを公表していない項目を表す。

※1：集計後（雑誌発行後）、社名変更などについて個別にいくつか更新している。

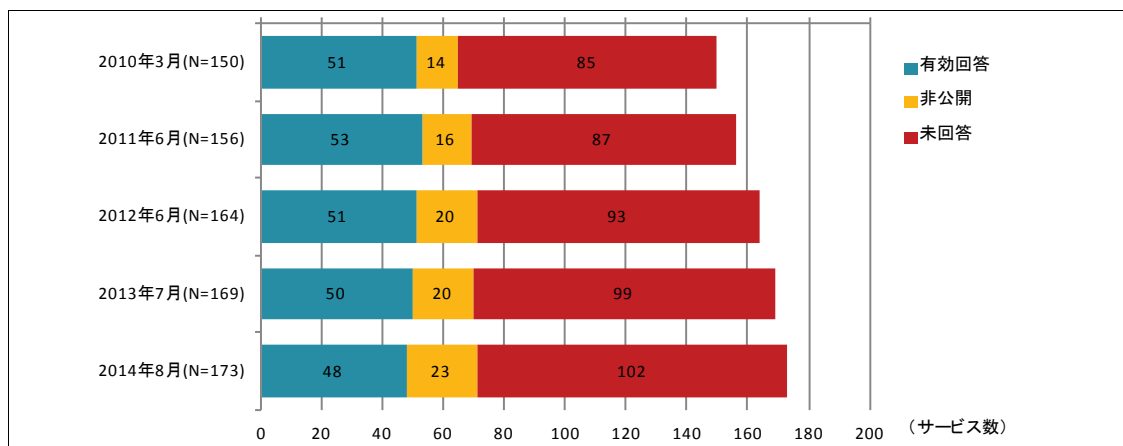
## 2.2 基本スペック

SAMPLE

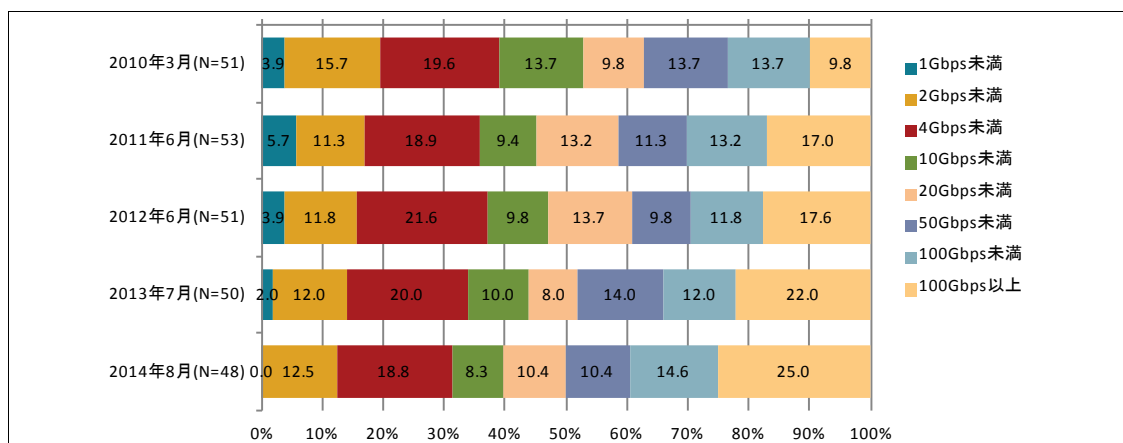
### 2.2.1 回線総量

回線総量についての有効回答は対象 173 のうち 48 である。

2014 年 8 月の回線総量は、帯域別に分けたレンジのうち最も広帯域である「100Gbps 以上」が 25.0% で最高。2013 年から本年にかけて広帯域の「100Gbps 未満」と「100Gbps 以上」が 1 つずつ増加しており、一貫して増加傾向となっている。



資料 2.2.1 回線総量の回答状況

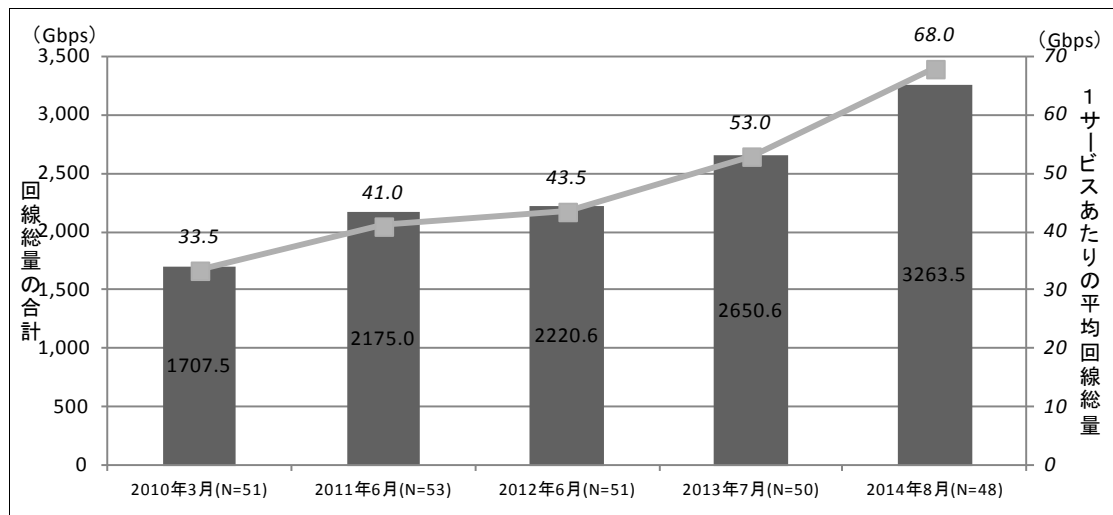


資料 2.2.2 回線総量の推移

1 サービスあたりの平均回線総量は、2014年8月では68.0Gbpsである。2011年から2012年にかけてはほぼ横ばいだったが、この2年間は大幅に増加している。平均の回線総量そのものは4年前（2010年）のほぼ2倍以上に増大した。

上位のサービスを見ると、ケイ・オプティコムがこの1年で264Gbpsから532Gbpsへと増加。同様にUCOMデータセンター（2月に丸紅アクセスソリューションズと合併してアルテリア・ネットワークス）が315Gbpsから351Gbpsへ、IDCフロンティアが210Gbpsから290Gbpsになっている。

SAMPLE



※回線総量について有効回答のみを集計している

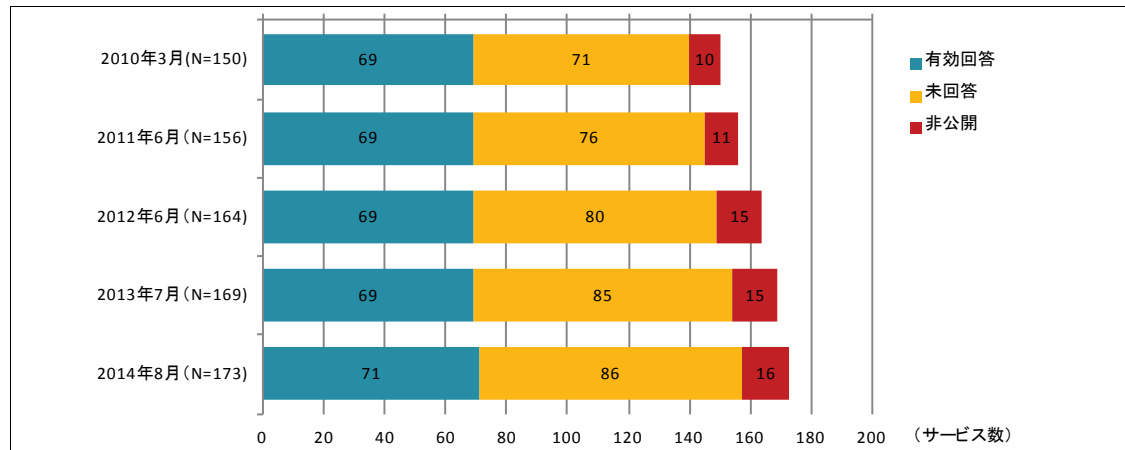
### 資料 2.2.3 回線総量の合計と1サービスあたりの平均回線総量の推移

## 2.2.2 接続先のIX・ISP

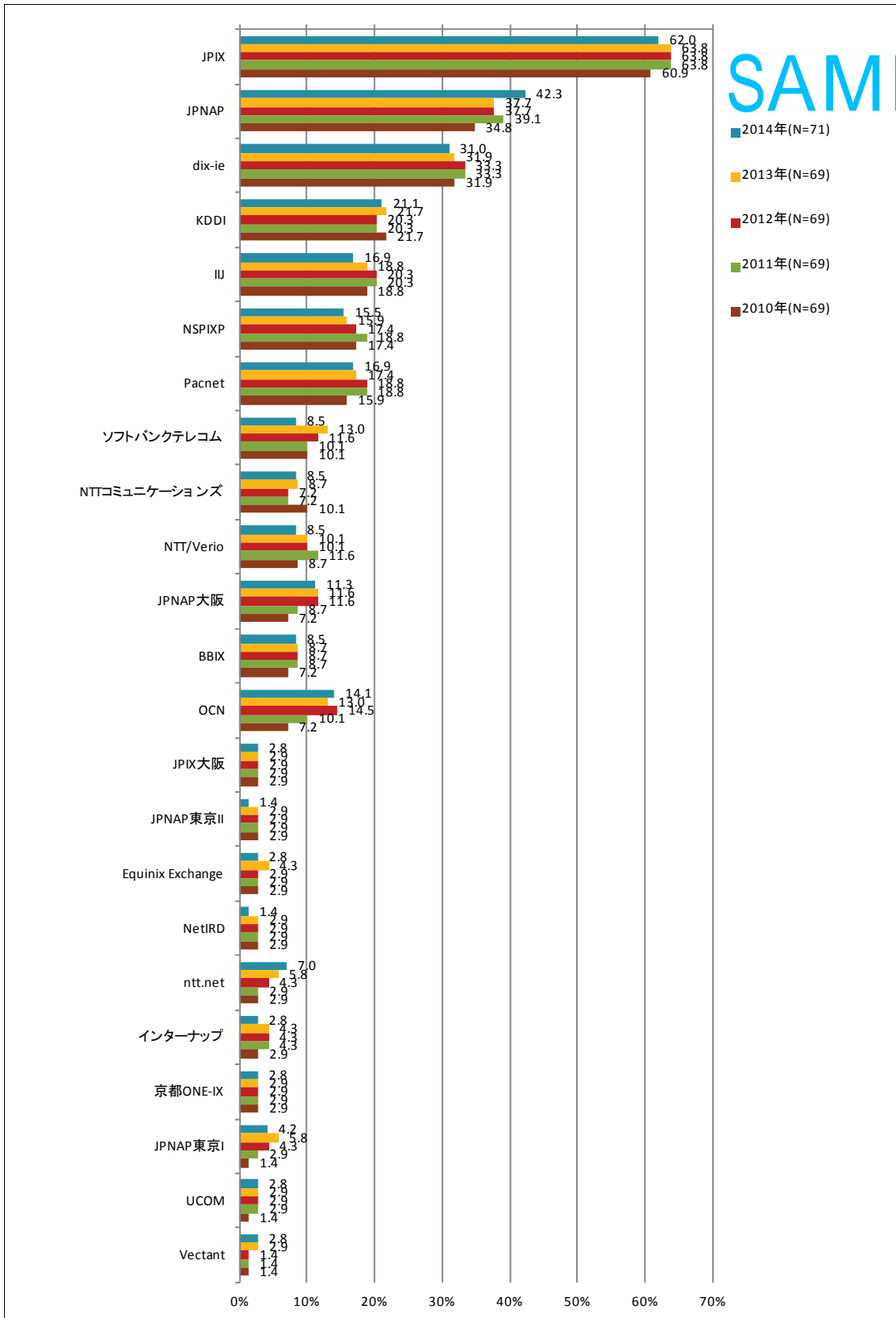
接続先のIX・ISPについての有効回答数は対象173のうち71である。

接続先のIX・ISPの比率で最も高いのは「JPIX」の62.0%であり、以下「JPNAP」が42.3%、「dix-ie」が31.0%、「KDDI」が21.1%、「IIJ」が16.9%の順で続く。これら比率が高いIX・ISPはいずれも昨年と同じ並びであるが、「JPNAP」のみ4.6ポイント増加しており、他のIX・ISPはいずれも微減となっている。しかし、全体としては大きな変動はなく、データセンターとIX・ISPの組み合わせが固定化、継続して接続している様子が見て取れる。

また、「JPNAP」は「JPNAP 東京Ⅰ」「JPNAP 東京Ⅱ」という回答もあり、合計するとより増加傾向を示している。また「ソフトバンクテレコム」や「OCN」「ntt.net」など接続数が少ないIX・ISPが徐々に接続数を伸ばしている状況も見て取れる。その他のIX・ISPは概ね横ばいとなっている。



資料 2.2.4 接続先のIX・ISPの回答状況



資料 2. 2. 5 接続先の IX・ISP

### 2.2.3 データセンターの所在地

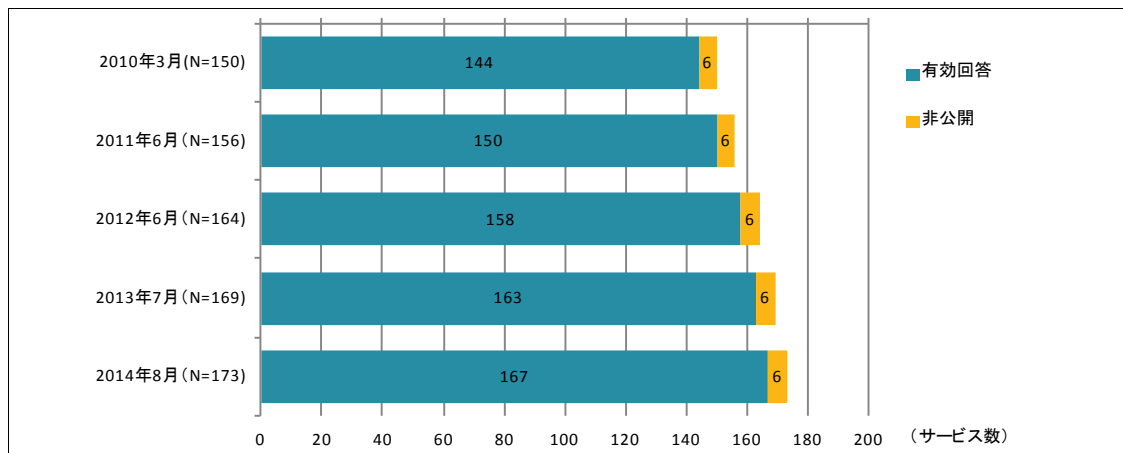
SAMPLE

データセンターの所在地について有効回答が得られたのは対象173のうち167である。

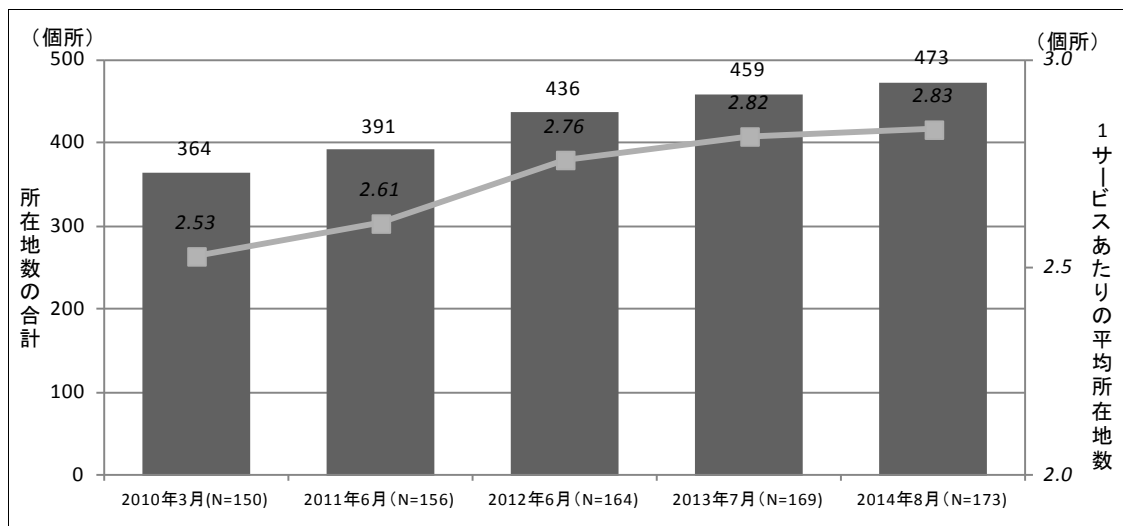
以下はデータセンターの所在地を、都道府県別に数値化したものである。1 サービスが複数の所在地を回答している場合は複数扱いとし、同一都道府県内に複数の所在地があると回答している場合も複数でカウントしている。

1 サービスあたりの平均所在地数は2.83であり、2010年から直近3年間は増加傾向が続いていたが、この1年は0.01の増加でほぼ横ばいとなっている。また、所在地数の合計は、回答数の増加により昨年の459個所から473個所に増加している。

※都道府県名が明示されている回答と、都道府県名を特定できる回答のみを集計対象としている。過年度のデータについても同様の方法で再集計の上、掲載している。



資料 2.2.6 所在地の回答状況



資料 2.2.7 所在地数の合計と1サービスあたりの平均所在地数（折れ線グラフ）の推移



以下はデータセンターの所在地を都道府県別に集計したもので、前ページのデータに加え、多数の地域に展開しているデータセンターについては、公開情報より所在地を補完して集計している。

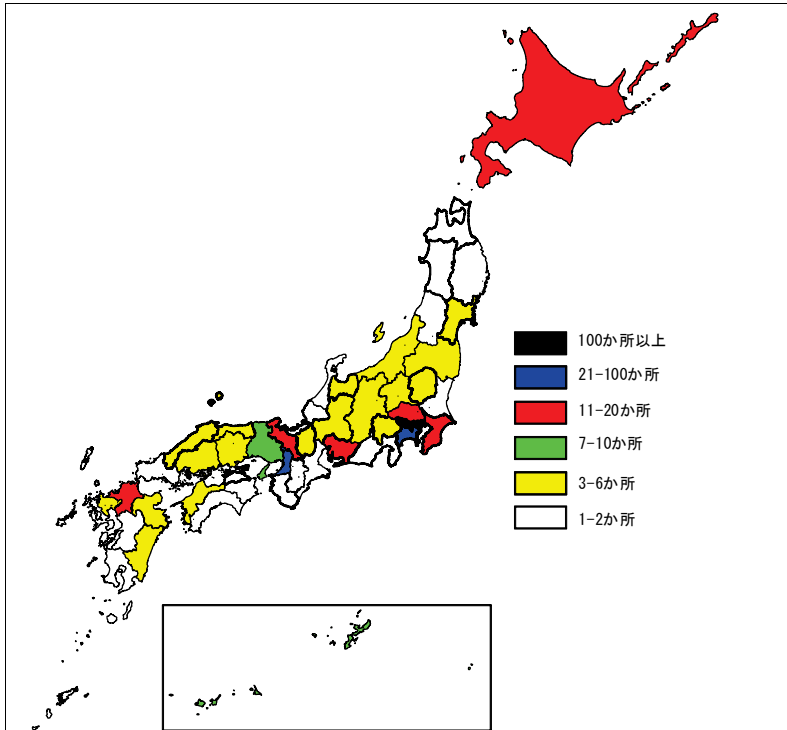
データセンターの所在地が最も多いのは東京都の192であり、2位である大阪府の69に大きな差をつけている。

個所数が6個所以上（上位4分の1）の都道府県を見ると、沖縄県以外は政令指定都市を含む都道府県となっており、東京都以外でも大都市圏で多いことが分かる。

2013年から2014年にかけては、福岡県で2個所増加、北海道、埼玉県、千葉県、石川県、愛知県、岡山県、大分県で1個所増加している。

都道府県	個所数	都道府県	個所数	都道府県	個所数	都道府県	個所数
東京都	192	群馬県	5	新潟県	3	山口県	2
大阪府	69	富山県	5	岐阜県	3	香川県	2
神奈川県	31	広島県	5	滋賀県	3	熊本県	2
北海道	19	宮崎県	5	鳥取県	3	青森県	1
愛知県	17	山梨県	4	愛媛県	3	岩手県	1
福岡県	16	長野県	4	茨城県	2	秋田県	1
埼玉県	11	島根県	4	石川県	2	山形県	1
千葉県	11	岡山県	4	福井県	2	徳島県	1
京都府	11	佐賀県	4	静岡県	2	高知県	1
兵庫県	9	大分県	4	三重県	2	長崎県	1
沖縄県	7	福島県	3	奈良県	2	鹿児島県	1
宮城県	5	栃木県	3	和歌山県	2		

資料 2.2.8 都道府県別データセンターの所在地数（降順）



資料 2.2.9 都道府県別データセンターの所在地数（全国地図）

# 第3章 利用企業動向調査

# SAMPLE

3.1	調査概要	75
3.1.1	調査概要	75
3.1.2	回答者（回答企業）のプロフィール	76
3.2	データセンターの利用状況	78
3.2.1	データセンターの利用用途	78
3.2.2	利用事業者ランキング	81
3.2.3	利用のきっかけ	82
3.2.4	利用しているデータセンターの個所数	86
3.2.5	データセンターの利用開始時期	89
3.2.6	データセンターの契約期間	92
3.2.7	利用している回線のキャリア	95
3.2.8	利用しているラック数	100
3.2.9	利用している回線の種類	103
3.2.10	利用している回線容量	106
3.2.11	1ラックあたりの利用している電力容量	109
3.2.12	1ラックで最低限必要な許容電力	112
3.2.13	利用しているサーバー台数	115
3.3	月額料金	118
3.3.1	ラックの月額料金	118
3.3.2	回線の月額料金	121
3.3.3	追加で支払っている電力料金	124
3.4	オプションサービス	127
3.4.1	利用しているオプションサービス	127
3.4.2	オプションサービスの月額料金	129
3.5	データセンターの立地	132
3.5.1	データセンターの所在地	132
3.5.2	データセンターまでの距離	134
3.5.3	データセンターまでの所要時間	137
3.5.4	データセンターの訪問頻度	140
3.5.5	データセンターを訪問する目的	143
3.5.6	オフィスとデータセンターの費用と近接性に関する意識	146
3.6	データセンターに対する評価	149
3.6.1	利用中のデータセンターの選択理由	149
3.6.2	利用しているデータセンターの満足度	154
3.6.3	利用しているデータセンターの満足な点	157

3.6.4	利用しているデータセンターの不満な点.....	162
3.6.5	データセンターに強化して欲しい点.....	167
3.6.6	データセンターに関する投資の増減見込み.....	171
3.7	データセンターの移転/統合意向.....	174
3.7.1	データセンターの移転経験の有無.....	174
3.7.2	データセンターの移転/統合の可能性.....	177
3.7.3	データセンターを移転/統合する理由.....	180
3.7.4	データセンターを移転/統合しない理由.....	181
3.8	クラウド.....	182
3.8.1	SaaSの利用状況.....	182
3.8.2	PaaSの利用状況.....	185
3.8.3	IaaSの利用状況.....	188
3.8.4	SaaSの利用目的.....	191
3.8.5	PaaSに魅力を感じている点.....	193
3.8.6	IaaSに魅力を感じている点.....	194
3.8.7	パブリッククラウドに対する取り組み状況.....	195
3.8.8	プライベートクラウドに対する取り組み状況.....	198
3.8.9	ハイブリッドクラウドに対する取り組み状況.....	201
3.8.10	クラウドに取り組む前の実現方法.....	204
3.8.11	クラウドサービスの採用に至らない理由.....	207

SAMPLE

本章では、データセンターユーザーに実施した調査をもとに、ユーザー動向を把握する。各設間とも全体集計（時系列）のほか、基本的に売上規模別集計、業種別集計、地域別集計を掲載している。

ただし、業種別、地域別の集計ではサンプル数が少ない場合も多いためコメントは付しておらず、参考資料とされたい。

## 3.1 調査概要

---

### 3.1.1 調査概要

#### ■調査対象

- ・NTT コムリサーチのリサーチモニター

#### ■対象地域

- ・全国

#### ■調査方法

- ・NTT コムリサーチを利用した Web アンケート

#### ■サンプリング条件

- ・勤務先においてデータセンターを利用して、データセンターの選定や決定に関与する個人

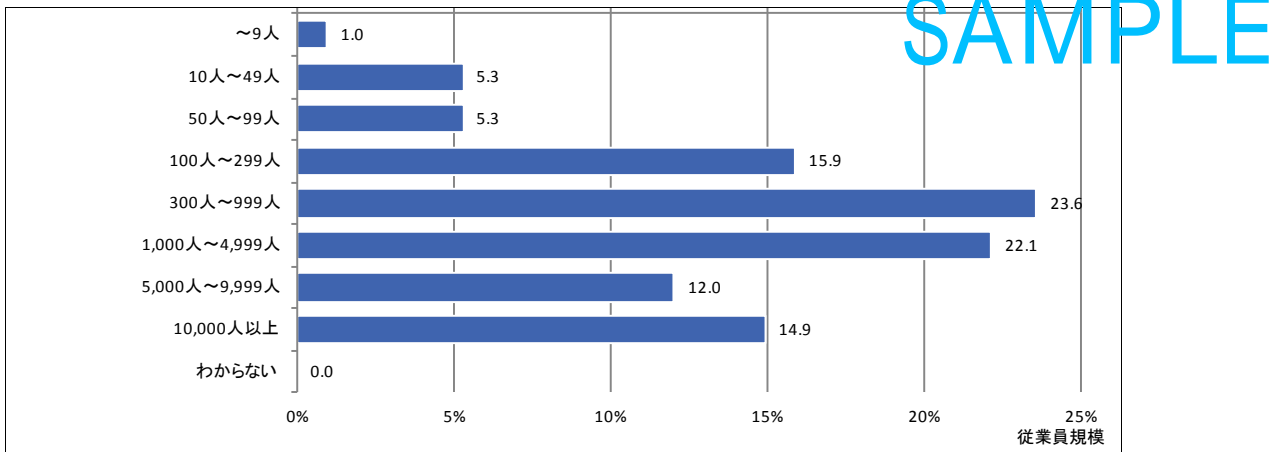
#### ■有効回答数

- ・208人

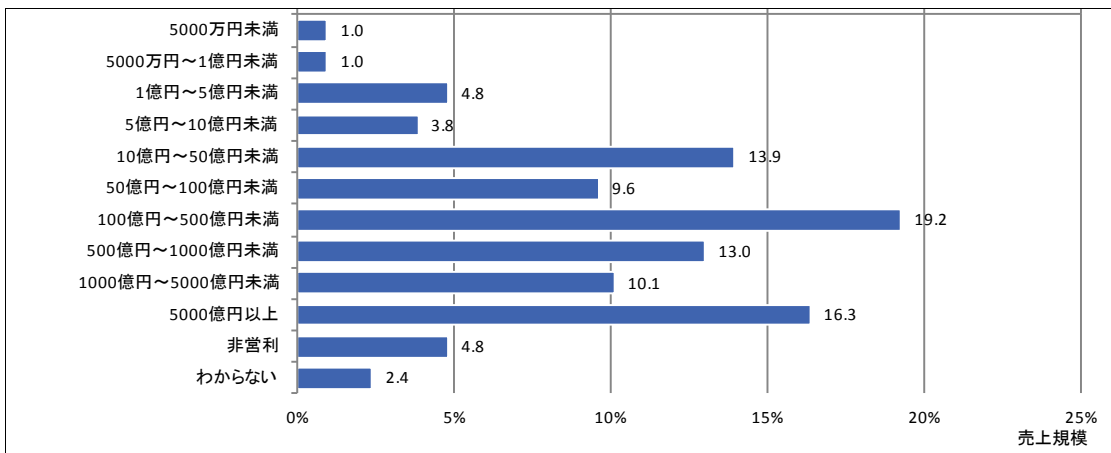
#### ■調査期間

- ・2014年8月8日（金）～19日（火）

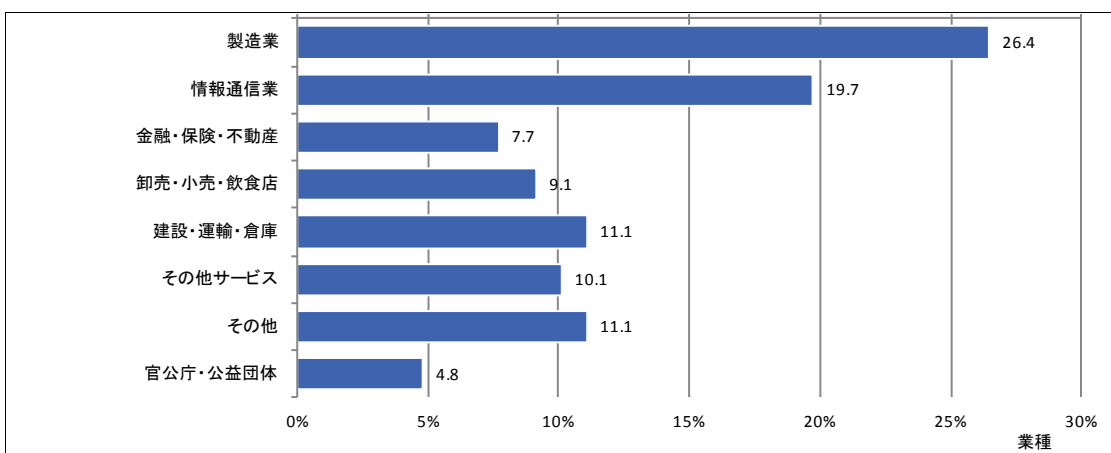
### 3.1.2 回答者（回答企業）のプロフィール



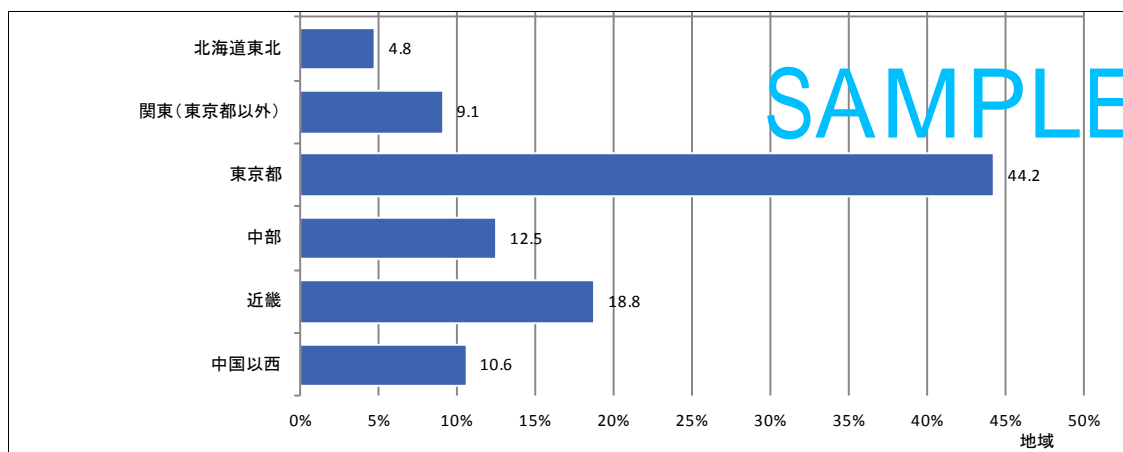
資料 3.1.1 従業員規模（プロフィール）



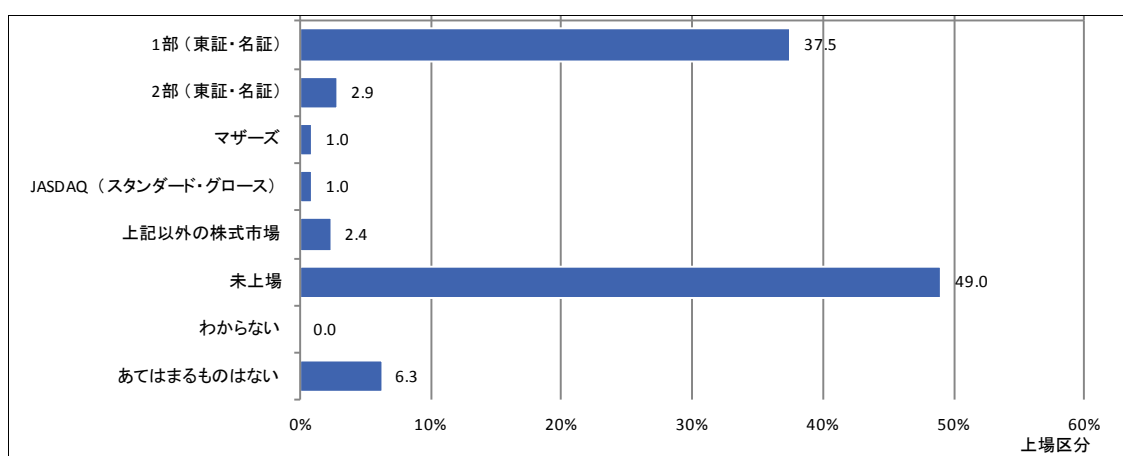
資料 3.1.2 売上規模（プロフィール）



資料 3.1.3 業種（プロフィール）



資料 3.1.4 地域 (プロフィール)



資料 3.1.5 上場区分 (プロフィール)

## 3.2 データセンターの利用状況

SAMPLE

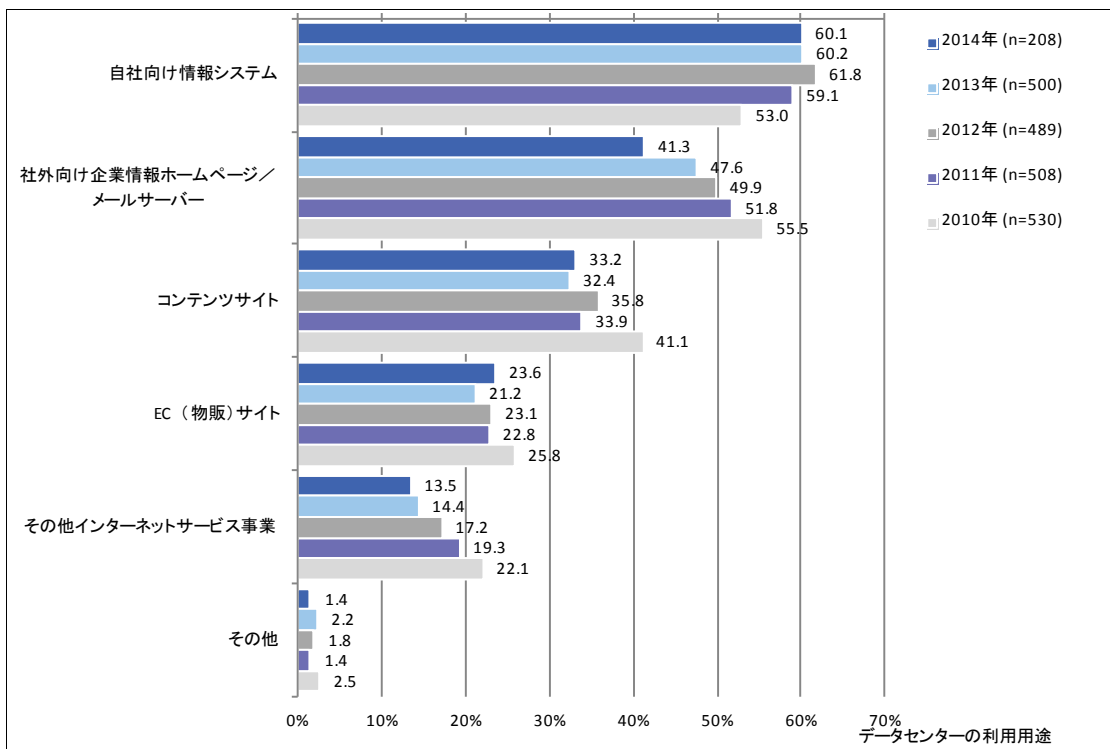
### 3.2.1 データセンターの利用用途

データセンターの利用用途では、「自社向け情報システム」が60.1%で最も比率が高く、昨年から横ばいである。次いで「社外向け企業情報ホームページ/メールサーバー」が41.3%となっているが、昨年より6.3ポイント減少しており、減少傾向に拍車がかかっている。以下、「コンテンツサイト」、「EC（物販）サイト」、「その他インターネットサービス事業」の順である。

東日本大震災以降、BCPでの利用拡大によって「自社向け情報システム」は増加傾向が続いていたが、昨年からの傾向は収まっており今年も横ばいで増加していない。また、「社外向け企業情報ホームページ/メールサーバー」は減少傾向が続いており、移行が容易なこうしたサーバーをクラウドサービス利用に移行したことなどが要因として考えられる。

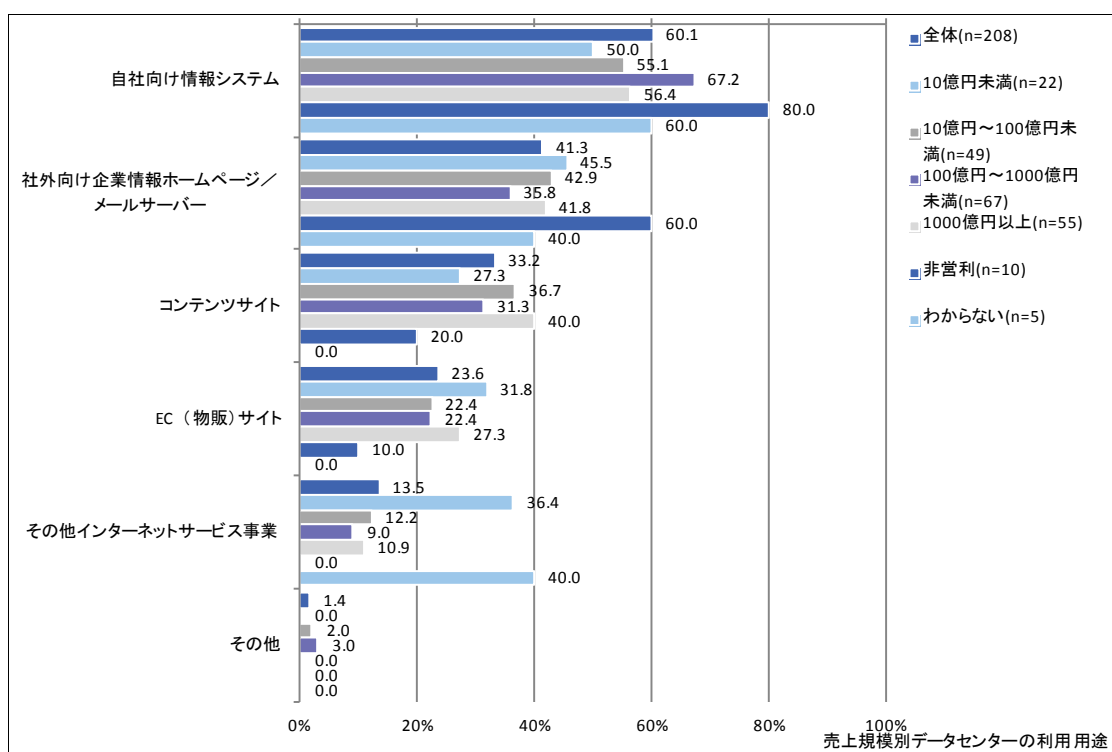
ユーザー企業の売上規模別（サンプル数の少ないカテゴリーを除く）に見ると、いずれの規模の企業も「自社向け情報システム」が最も高い比率であり、「社外向け企業情報ホームページ/メールサーバー」が続いている。規模による明確な傾向の差は見いだせない。

業種別、地域別の集計ではサンプル数が少ない場合も多いため、参考資料とされたい（以降同じ）。



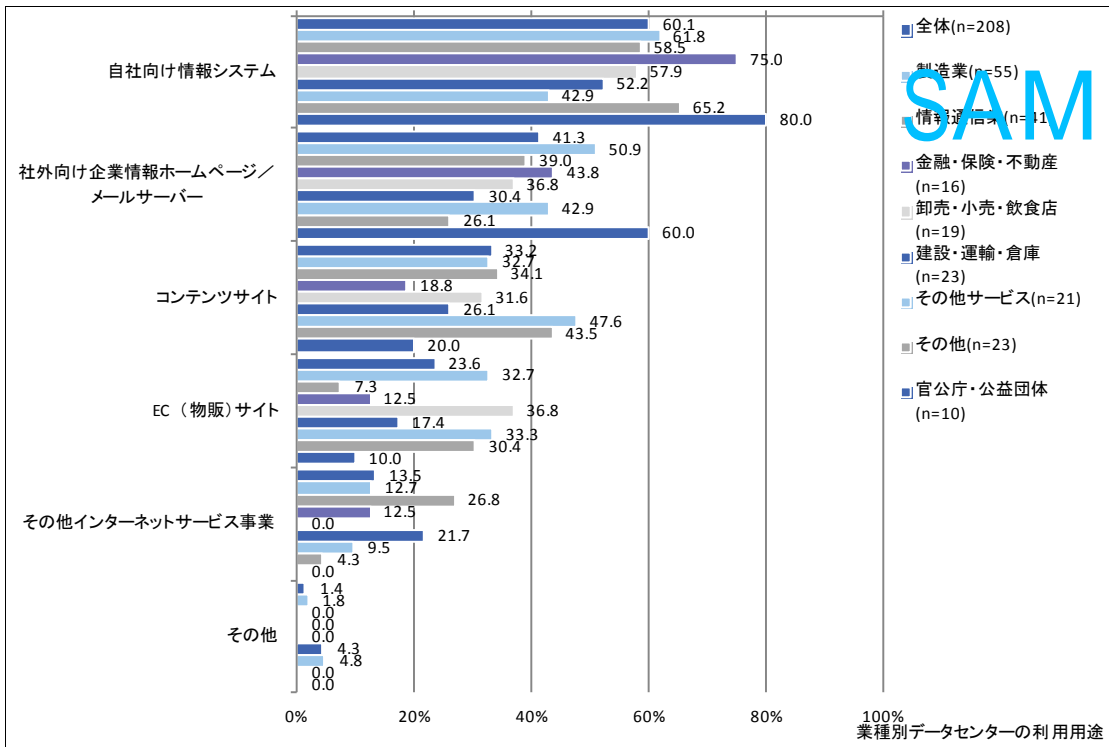
(%)	自社向け情報システム	社外向け企業情報ホームページ/メールサーバー	コンテンツサイト	EC（物販）サイト	その他インターネットサービス事業	その他
2014年 (n=208)	60.1	41.3	33.2	23.6	13.5	1.4
2013年 (n=500)	60.2	47.6	32.4	21.2	14.4	2.2
2012年 (n=489)	61.8	49.9	35.8	23.1	17.2	1.8
2011年 (n=508)	59.1	51.8	33.9	22.8	19.3	1.4
2010年 (n=530)	53.0	55.5	41.1	25.8	22.1	2.5

資料 3.2.1 データセンターの利用用途（複数回答）

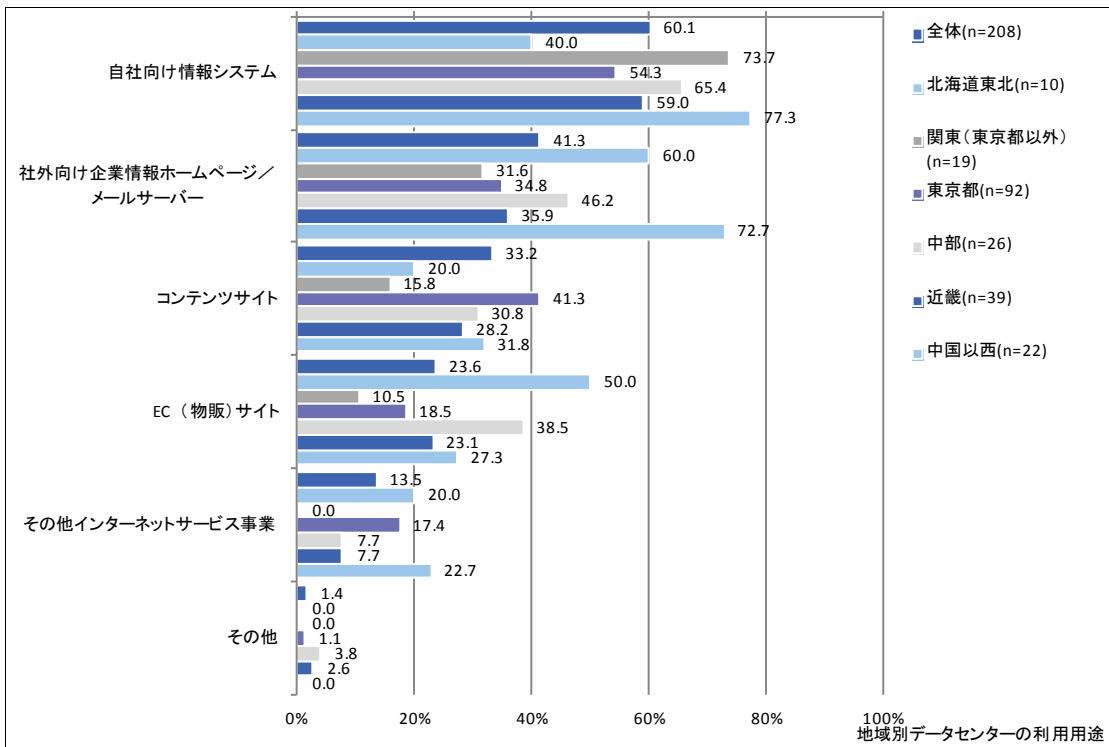


資料 3.2.2 売上規模別データセンターの利用用途（複数回答）





資料 3.2.3 業種別データセンターの利用用途（複数回答）



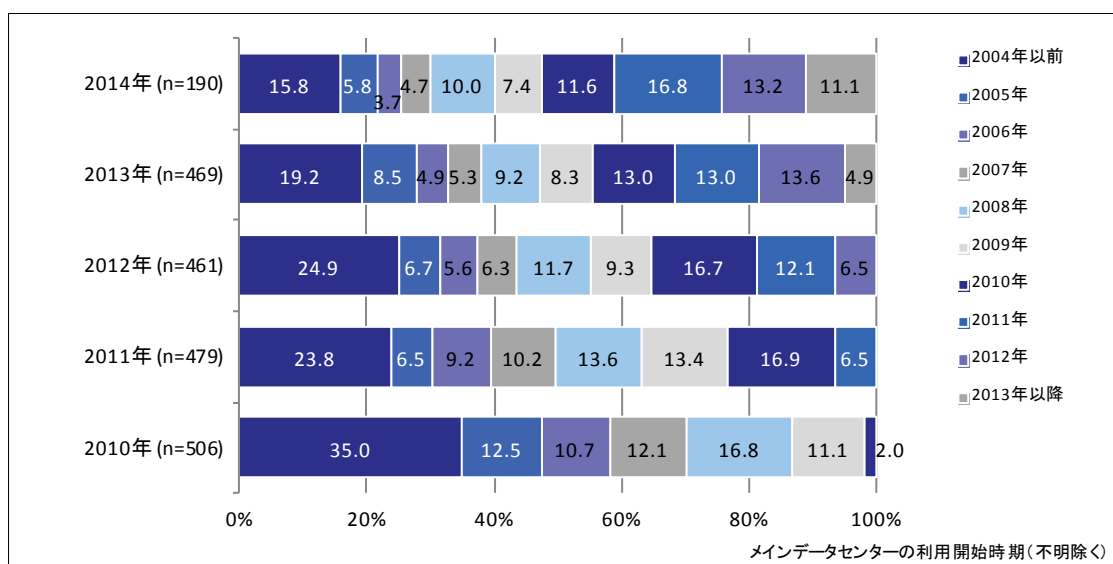
資料 3.2.4 地域別データセンターの利用用途（複数回答）

### 3.2.5 データセンターの利用開始時期

現在主に利用しているデータセンターの利用開始時期では、「2011年」が16.8%で最も高く、2010年以降の比率が合計で52.6%と半数を占めている。2011年といえば東日本大震災が発生した年だ。その年から16%、13.2%、11.1%と徐々に少なくなっているが、2010年以前と比べれば最近になって新規に利用または乗り換えたわけだ。一方、一部の業務をクラウド利用することによる、メインデータセンターへの変更といった可能性もある。どちらの理由にしろ、データセンターの利用が流動化していることが裏付けられている。

ユーザー企業の売上規模別に見ると、1000億円以上の大規模な企業では「2004年以前」の比率が20.0%と高く、規模が小さくなるほどその比率は低下する傾向にある。

一方、2010年以降の比率の合計は、100億円～1000億円未満の企業で高く、この規模の企業ではここ数年間の新規や移転によって現在のデータセンターを利用し始めた比率が高い傾向が見られる。

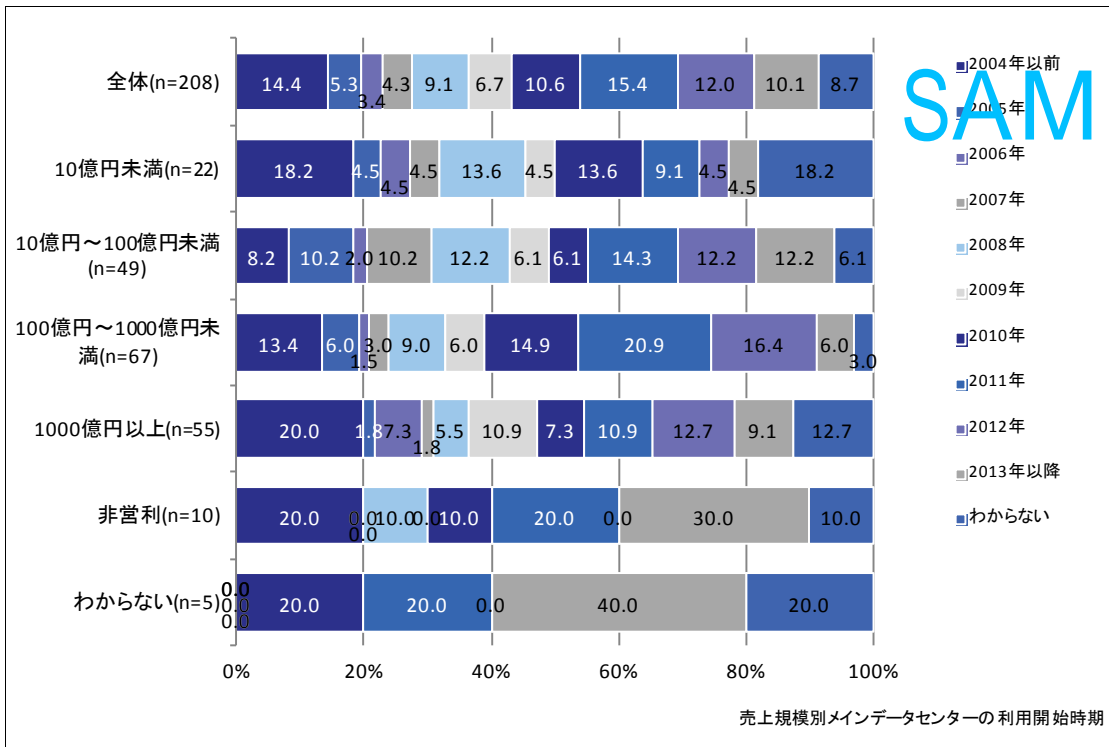


(%)	2004年以前	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年以降	わからない
2014年 (n=208)	14.4	5.3	3.4	4.3	9.1	6.7	10.6	15.4	12.0	10.1	8.7
2013年 (n=500)	18.0	8.0	4.6	5.0	8.6	7.8	12.2	12.2	12.8	4.6	6.2
2012年 (n=489)	23.5	6.3	5.3	5.9	11.0	8.8	15.7	11.5	6.1	0.0	5.7
2011年 (n=508)	22.4	6.1	8.7	9.6	12.8	12.6	15.9	6.1	0.0	0.0	5.7
2010年 (n=530)	33.4	11.9	10.2	11.5	16.0	10.6	1.9	0.0	0.0	0.0	4.5

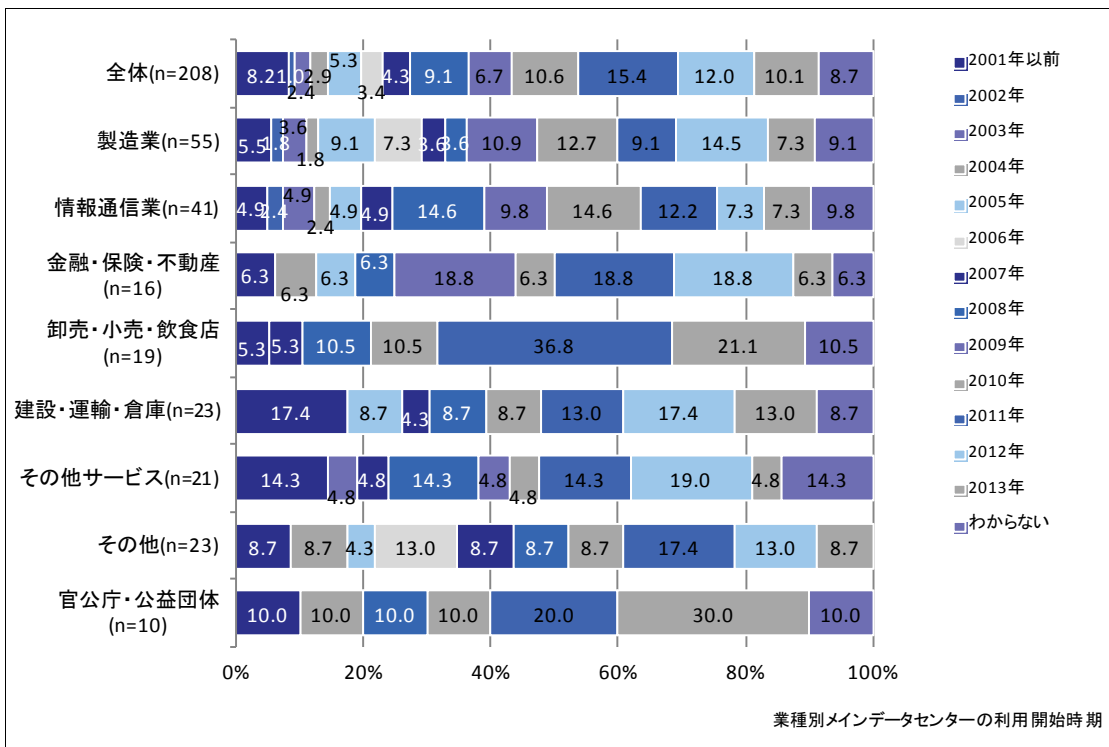
(不明除く・%)	2004年以前	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年以降
2014年 (n=190)	15.8	5.8	3.7	4.7	10.0	7.4	11.6	16.8	13.2	11.1
2013年 (n=469)	19.2	8.5	4.9	5.3	9.2	8.3	13.0	13.0	13.6	4.9
2012年 (n=461)	24.9	6.7	5.6	6.3	11.7	9.3	16.7	12.1	6.5	
2011年 (n=479)	23.8	6.5	9.2	10.2	13.6	13.4	16.9	6.5		
2010年 (n=506)	35.0			12.5	10.7	12.1	16.8	11.1	2.0	

資料 3.2.14 メインデータセンターの利用開始時期

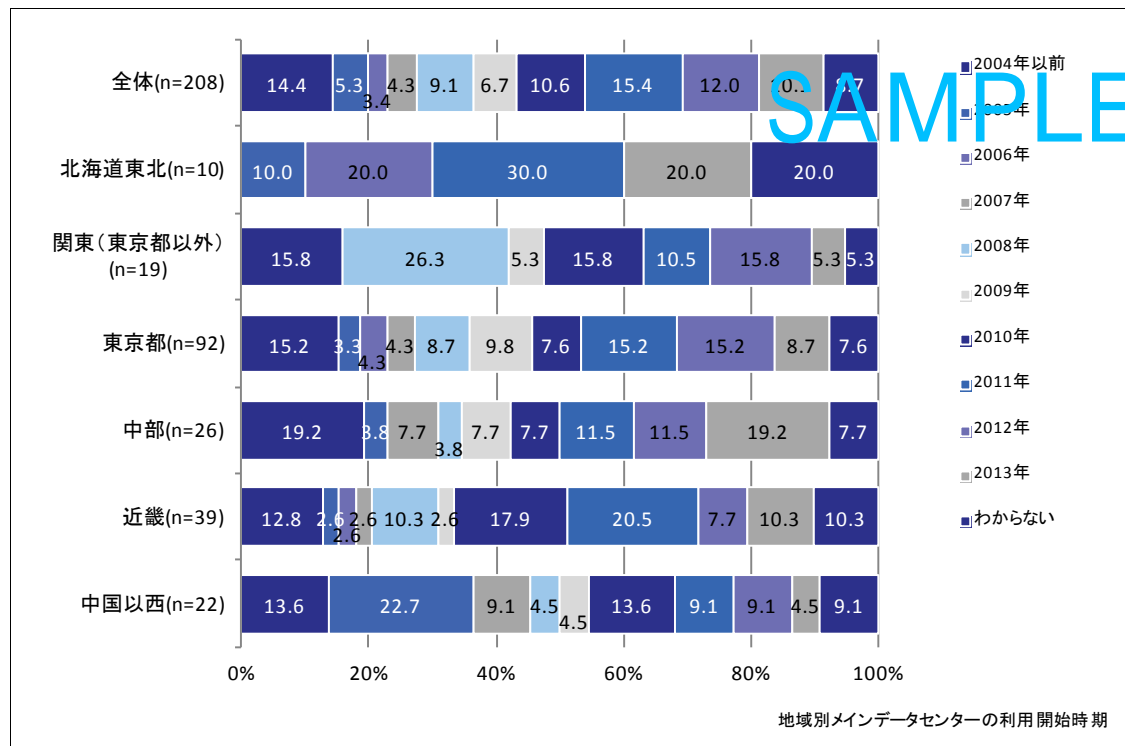
SAMPLE



資料 3.2.15 売上規模別メインデータセンターの利用開始時期



資料 3.2.16 業種別メインデータセンターの利用開始時期



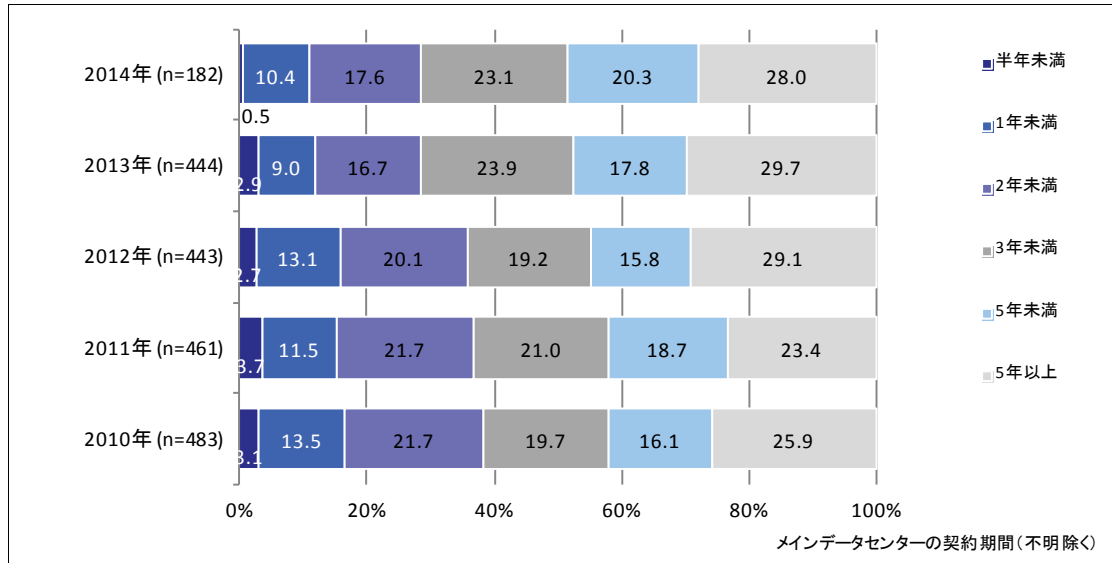
資料 3.2.17 地域別メインデータセンターの利用開始時期

### 3.2.6 データセンターの契約期間

現在主に利用しているデータセンターの契約期間では、「5年以上」が28.0%と最も比率が高く、「1年未満」が23.1%、「5年未満」が20.3%と続く。長期間化している傾向が続いている。

SAMPLE

ユーザー企業の売上規模別に見ると、「わからない」を除外した場合、10億円～100億円未満の企業では、それより規模の大きい企業と比較して「1年未満」や「2年未満」の比率が高く、「3年未満」や「5年未満」の比率が低い傾向にある。ただ、「5年以上」の比率は変わらない。

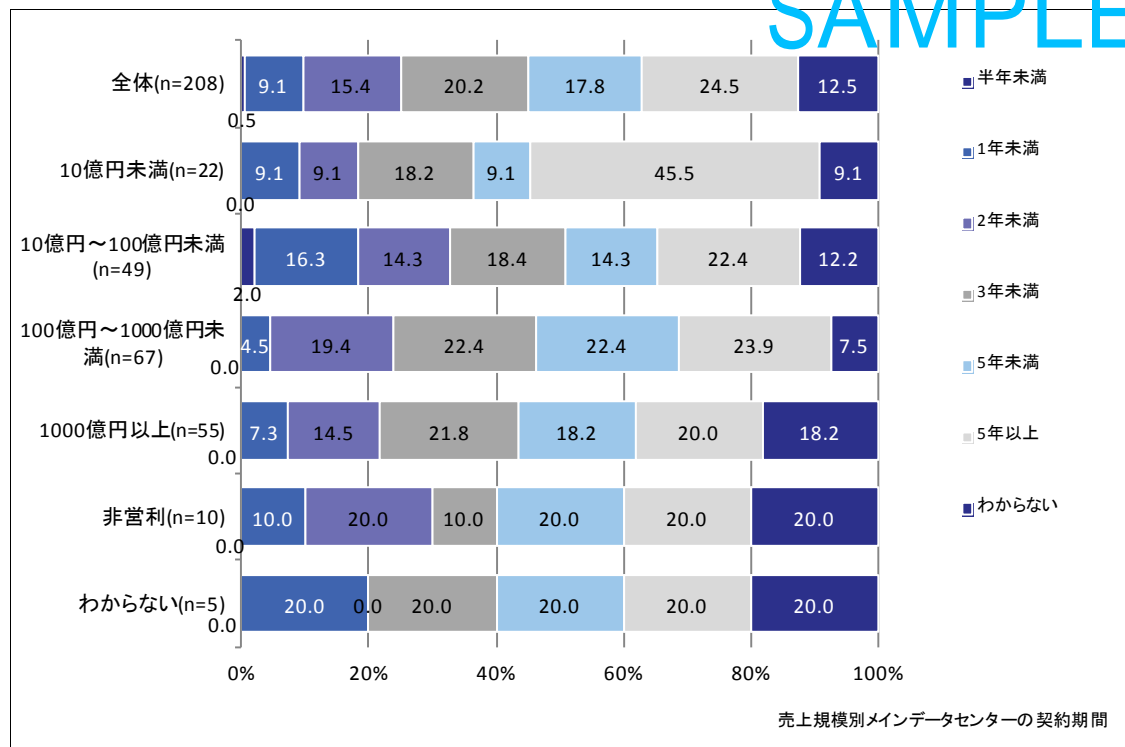


(%)	半年未満	1年未満	2年未満	3年未満	5年未満	5年以上	わからない
2014年 (n=208)	0.5	9.1	15.4	20.2	17.8	24.5	12.5
2013年 (n=500)	2.6	8.0	14.8	21.2	15.8	26.4	11.2
2012年 (n=489)	2.5	11.9	18.2	17.4	14.3	26.4	9.4
2011年 (n=508)	3.3	10.4	19.7	19.1	16.9	21.3	9.3
2010年 (n=530)	2.8	12.3	19.8	17.9	14.7	23.6	8.9

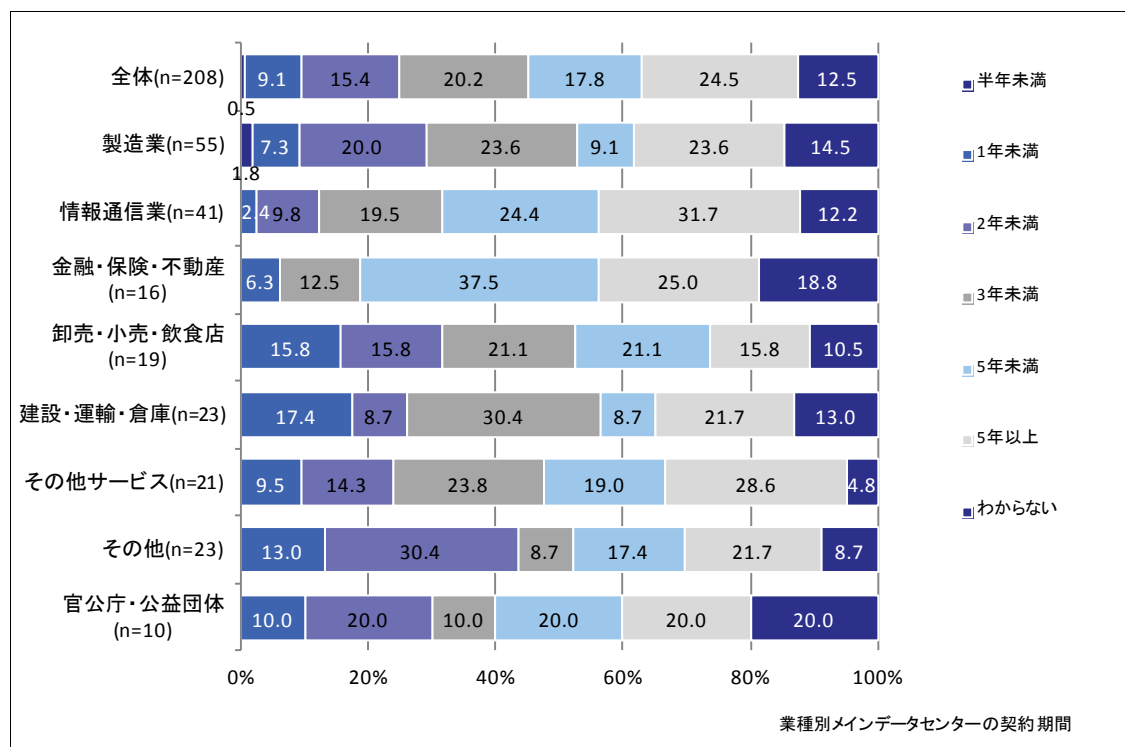
(不明除く・%)	半年未満	1年未満	2年未満	3年未満	5年未満	5年以上
2014年 (n=182)	0.5	10.4	17.6	23.1	20.3	28.0
2013年 (n=444)	2.9	9.0	16.7	23.9	17.8	29.7
2012年 (n=443)	2.7	13.1	20.1	19.2	15.8	29.1
2011年 (n=461)	3.7	11.5	21.7	21.0	18.7	23.4
2010年 (n=483)	3.1	13.5	21.7	19.7	16.1	25.9

資料 3.2.18 メインデータセンターの契約期間

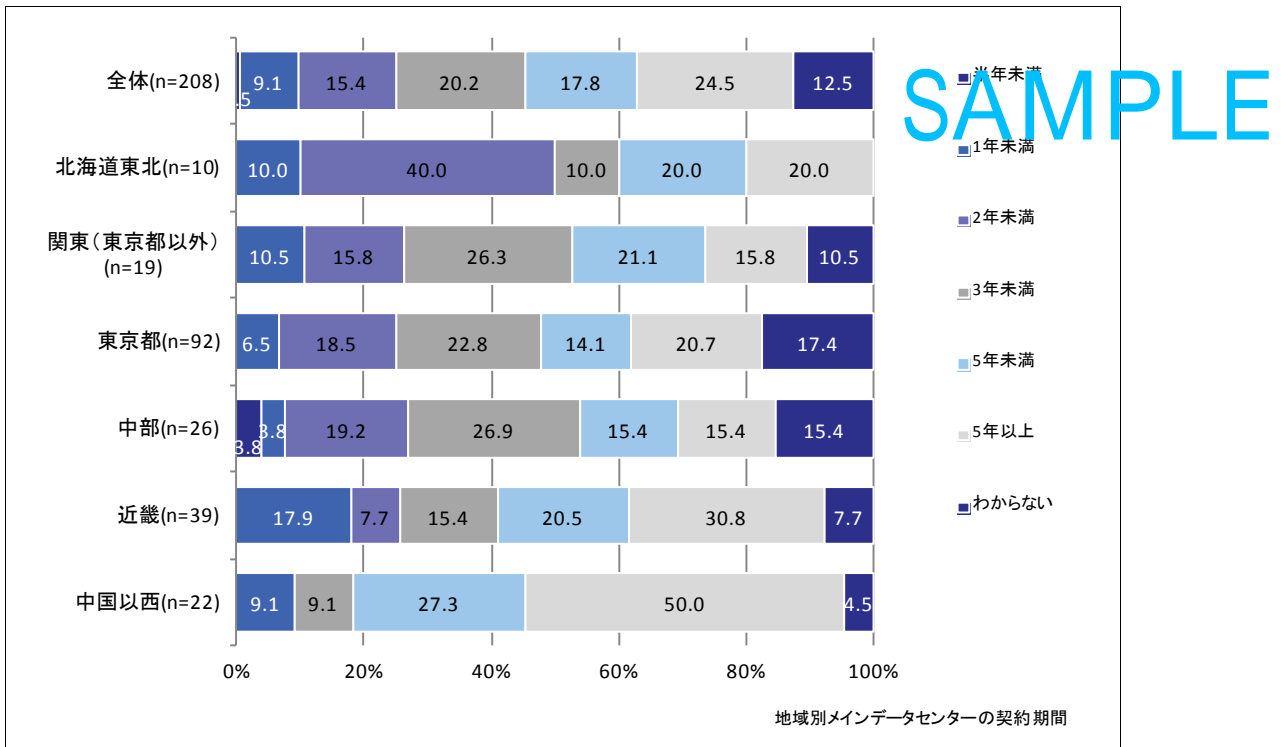
# SAMPLE



資料 3.2.19 売上規模別メインデータセンターの契約期間



資料 3.2.20 業種別メインデータセンターの契約期間

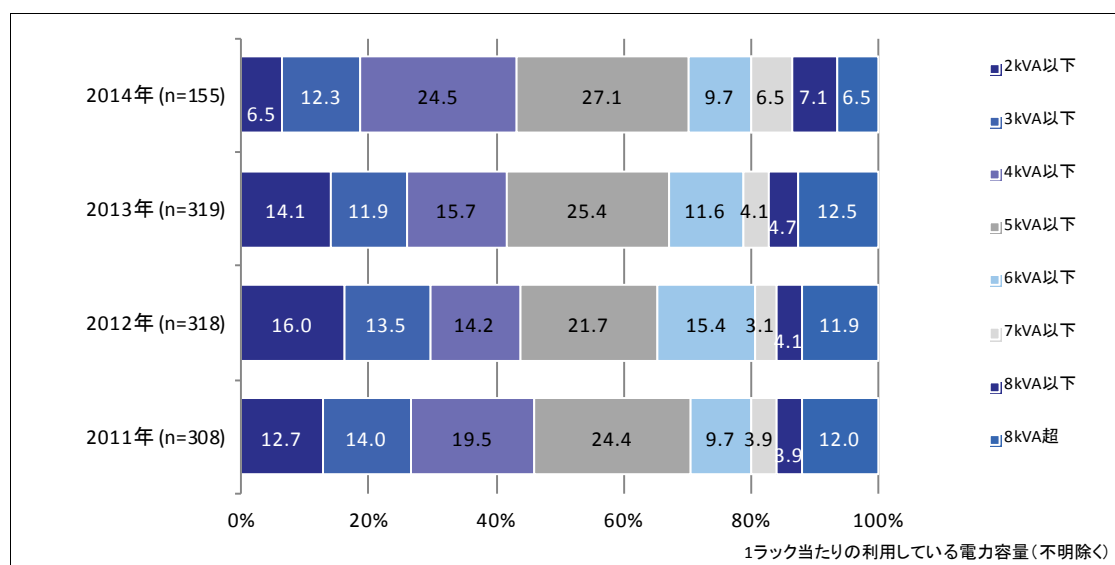


資料 3.2.21 地域別メインデータセンターの契約期間

### 3.2.11 1ラックあたりの利用している電力容量

利用しているラックの電力容量では、「5kVA以下」が27.1%で最も比率が高く、「4kVA以下」が24.5%で続く。両者がボリュームゾーンであることは昨年と同じであるが、よりその傾向は強くなっている。また、「3kVA以下」や「2kVA以下」の低電力容量の比率は引き続き低下傾向にある。

ユーザー企業の売上規模別に見ると、「わからない」を除外すると規模の大きな企業ほど大きな電力容量で利用している傾向が見られる。

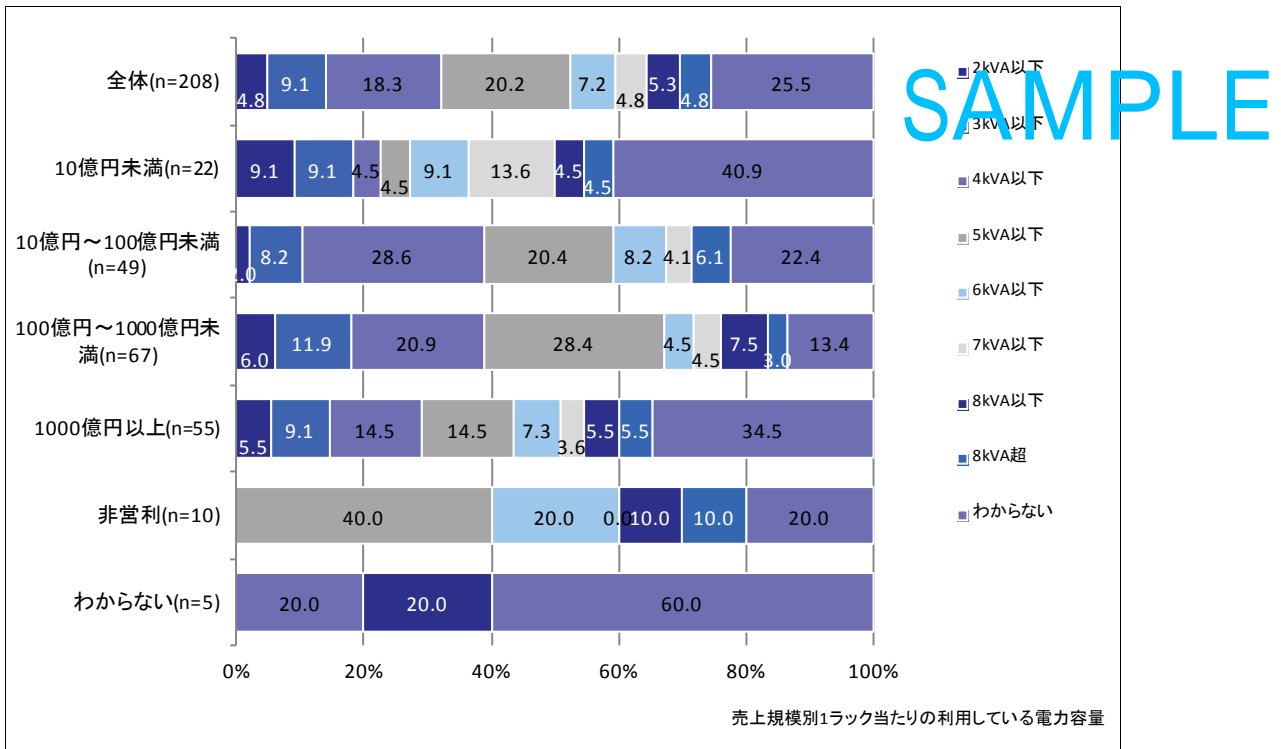


(%)	2kVA以下	3kVA以下	4kVA以下	5kVA以下	6kVA以下	7kVA以下	8kVA以下	8kVA超	わからない
2014年 (n=208)	4.8	9.1	18.3	20.2	7.2	4.8	5.3	4.8	25.5
2013年 (n=500)	9.0	7.6	10.0	16.2	7.4	2.6	3.0	8.0	36.2
2012年 (n=489)	10.4	8.8	9.2	14.1	10.0	2.0	2.7	7.8	35.0
2011年 (n=508)	7.7	8.5	11.8	14.8	5.9	2.4	2.4	7.3	39.4

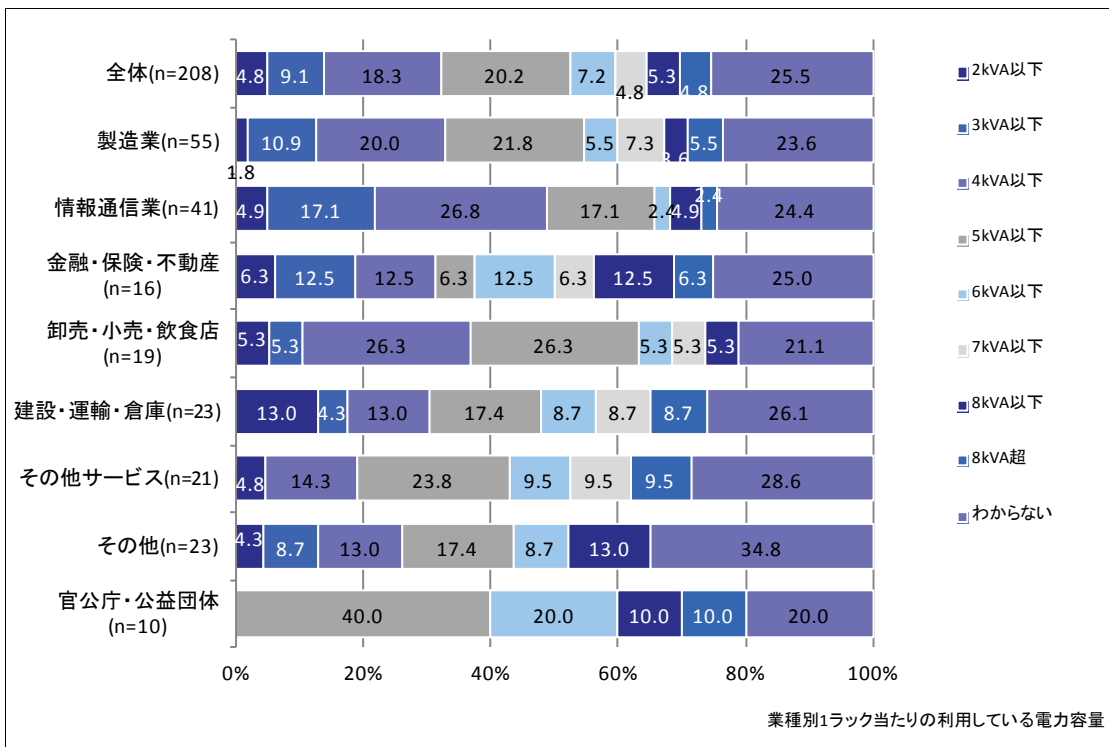
(不明除く・%)	2kVA以下	3kVA以下	4kVA以下	5kVA以下	6kVA以下	7kVA以下	8kVA以下	8kVA超
2014年 (n=155)	6.5	12.3	24.5	27.1	9.7	6.5	7.1	6.5
2013年 (n=319)	14.1	11.9	15.7	25.4	11.6	4.1	4.7	12.5
2012年 (n=318)	16.0	13.5	14.2	21.7	15.4	3.1	4.1	11.9
2011年 (n=308)	12.7	14.0	19.5	24.4	9.7	3.9	3.9	12.0

資料 3.2.38 1ラックあたりの利用している電力容量

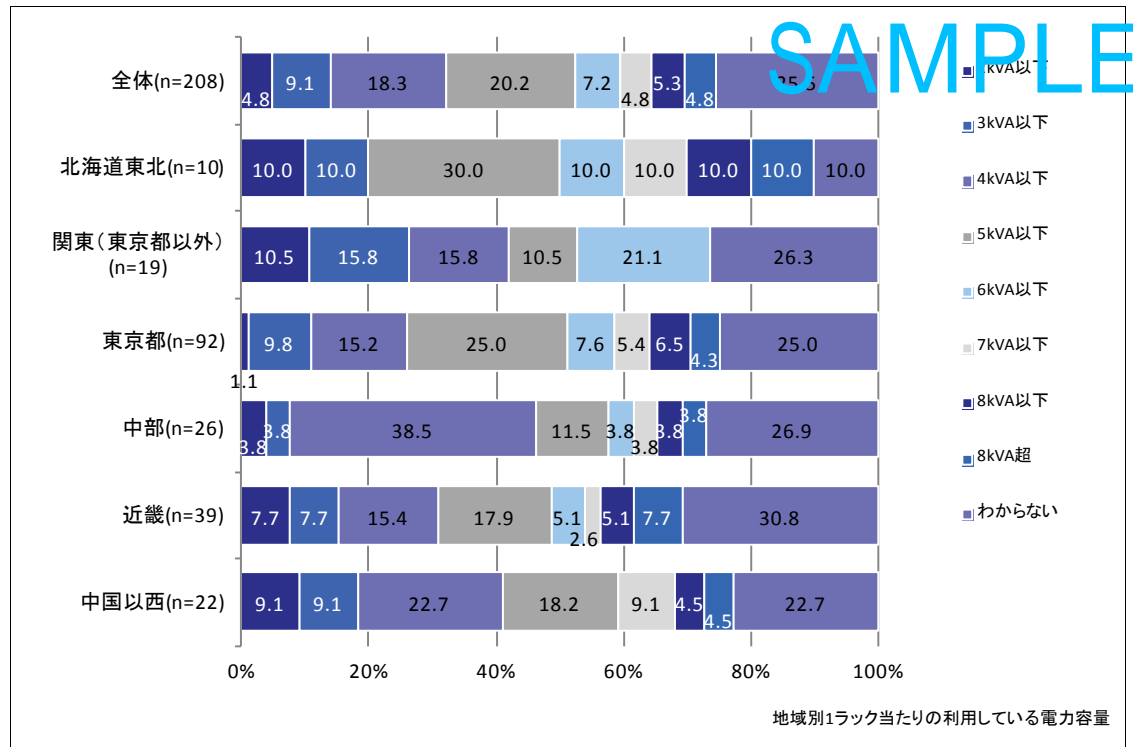




資料 3.2.39 売上規模別1ラックあたりの利用している電力容量



資料 3.2.40 業種別1ラックあたりの利用している電力容量

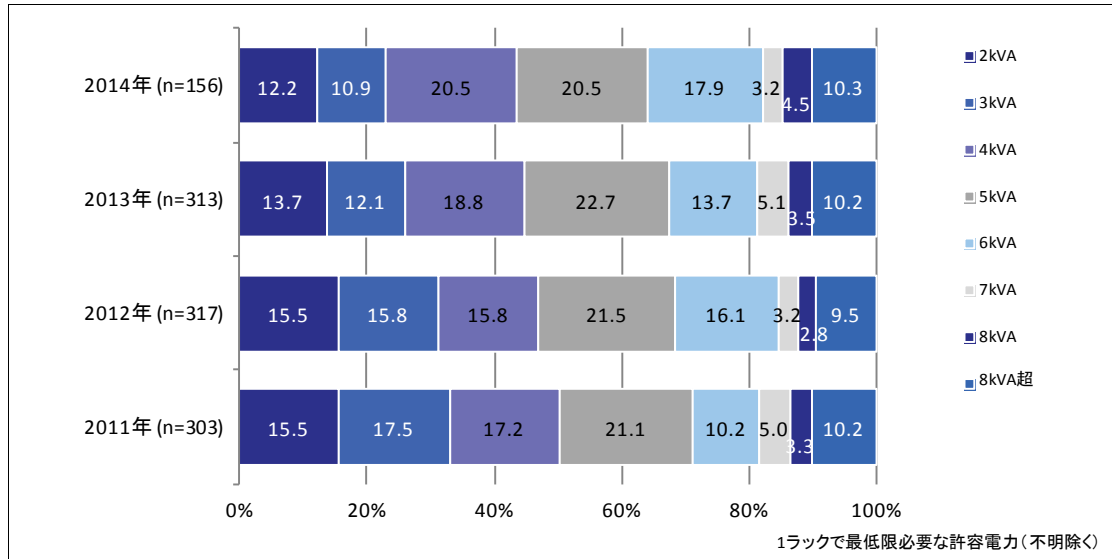


資料 3.2.41 地域別1ラックあたりの利用している電力容量

### 3.2.12 1ラックで最低限必要な許容電力

1ラックで最低限必要な許容電力は、「5kVA」が20.5%で最も比率が高く、「4kVA」が20.5%で続く。時系列で見た場合、「5kVA」以上の比率の合計は増加しており、必要な電力容量は増加傾向が続いている。

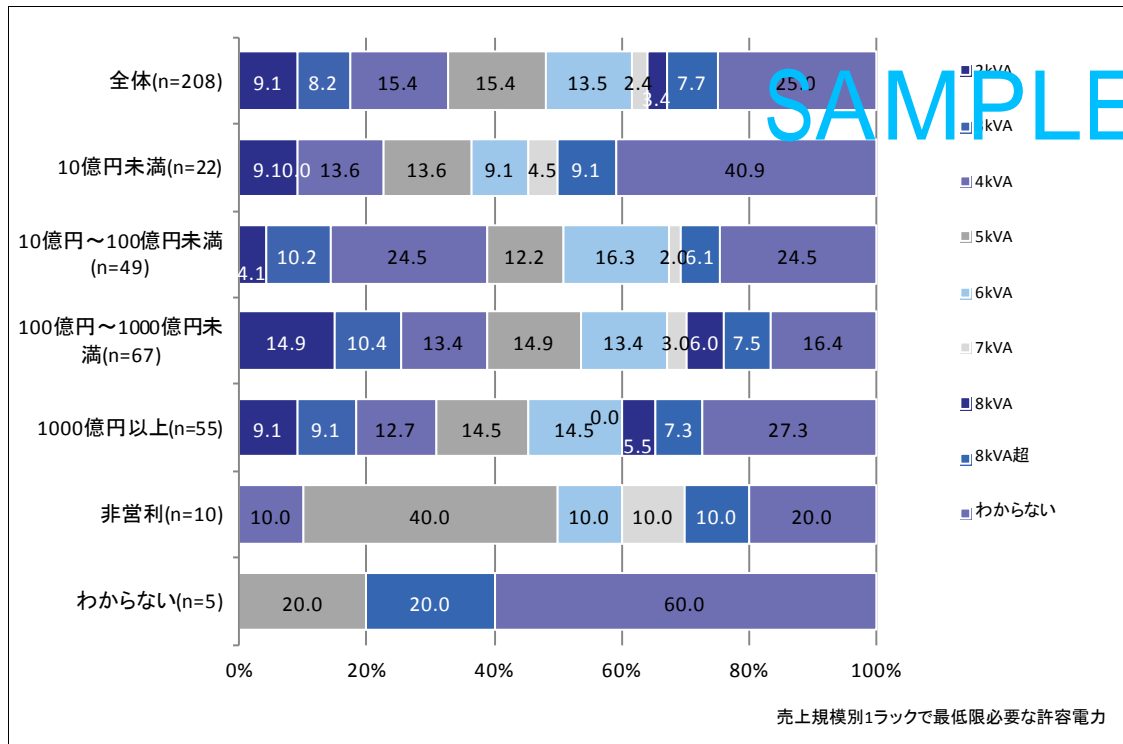
ユーザー企業の売上規模別に見ると、規模の大きな企業ほど必要な許容電力も多くなる傾向が見られる。



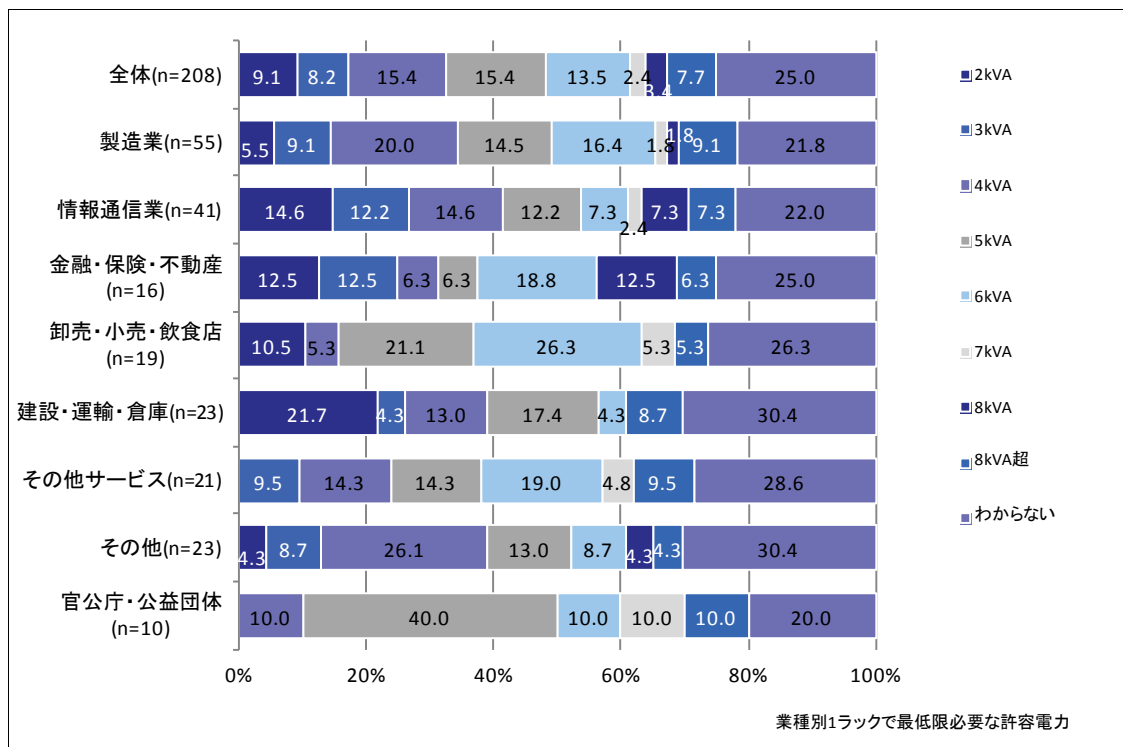
(%)	2kVA	3kVA	4kVA	5kVA	6kVA	7kVA	8kVA	8kVA超	わからない
2014年 (n=208)	9.1	8.2	15.4	15.4	13.5	2.4	3.4	7.7	25.0
2013年 (n=500)	8.6	7.6	11.8	14.2	8.6	3.2	2.2	6.4	37.4
2012年 (n=489)	10.0	10.2	10.2	13.9	10.4	2.0	1.8	6.1	35.2
2011年 (n=508)	9.3	10.4	10.2	12.6	6.1	3.0	2.0	6.1	40.4

(不明除く・%)	2kVA	3kVA	4kVA	5kVA	6kVA	7kVA	8kVA	8kVA超
2014年 (n=156)	12.2	10.9	20.5	20.5	17.9	3.2	4.5	10.3
2013年 (n=313)	13.7	12.1	18.8	22.7	13.7	5.1	3.5	10.2
2012年 (n=317)	15.5	15.8	15.8	21.5	16.1	3.2	2.8	9.5
2011年 (n=303)	15.5	17.5	17.2	21.1	10.2	5.0	3.3	10.2

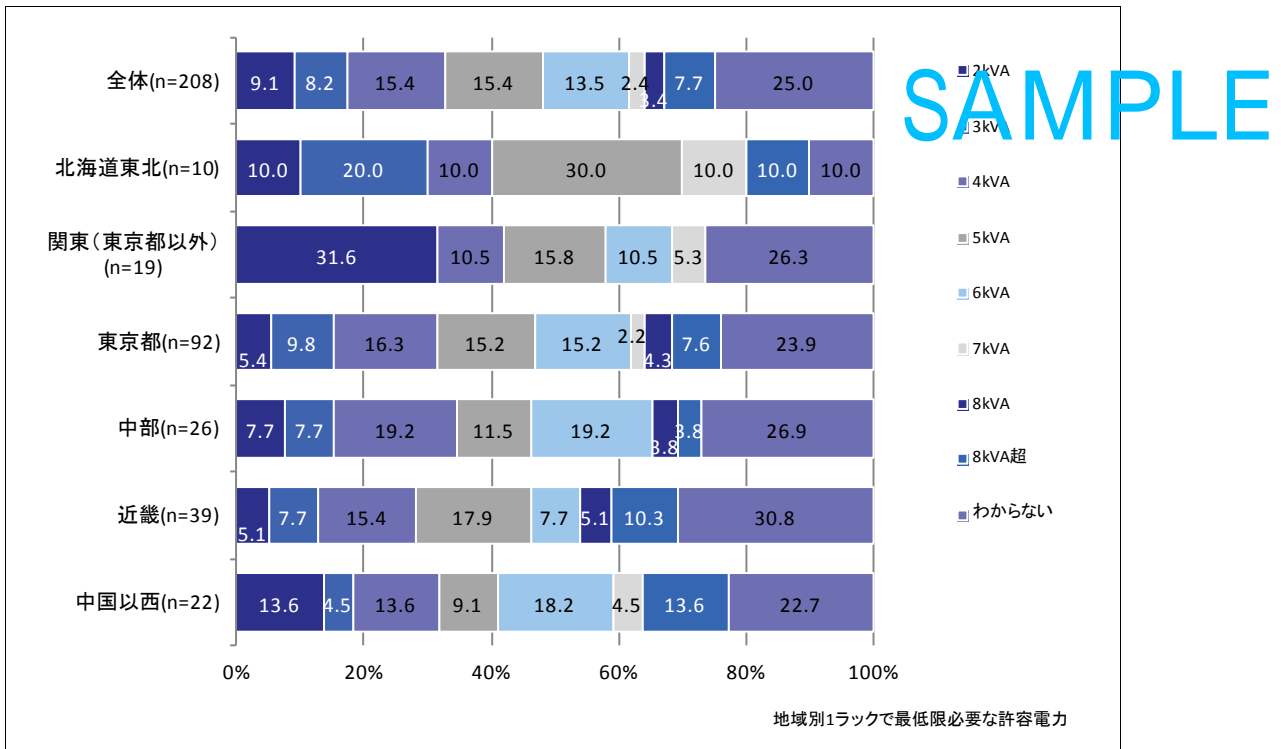
資料 3.2.42 1ラックで最低限必要な許容電力



資料 3.2.43 売上規模別1ラックで最低限必要な許容電力



資料 3.2.44 業種別1ラックで最低限必要な許容電力

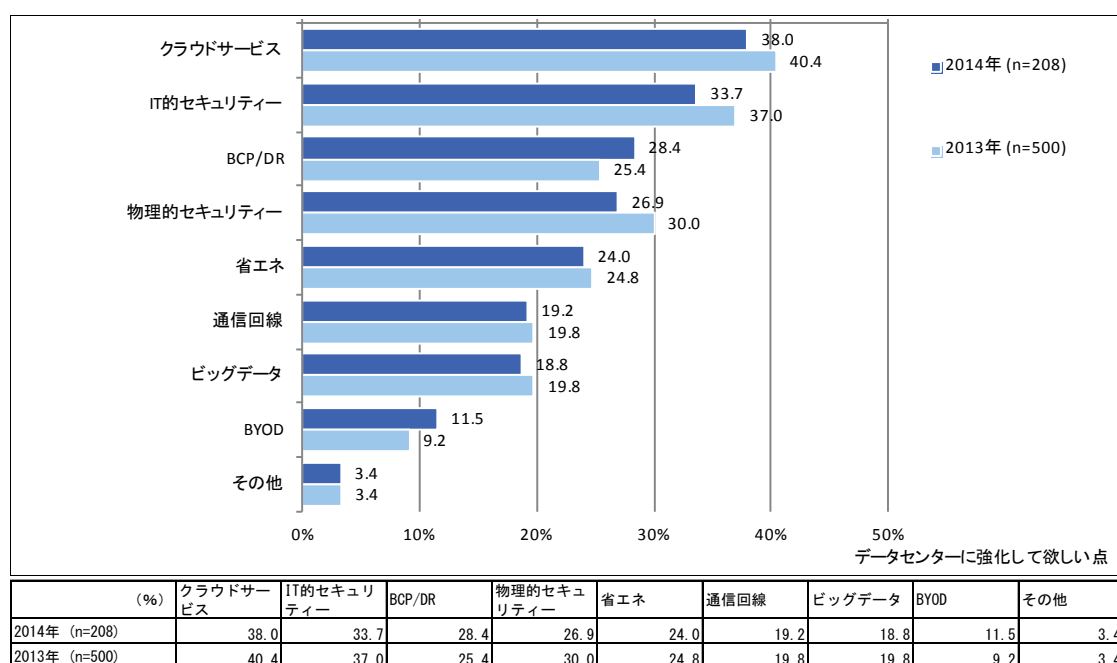


資料 3.2.45 地域別1ラックで最低限必要な許容電力

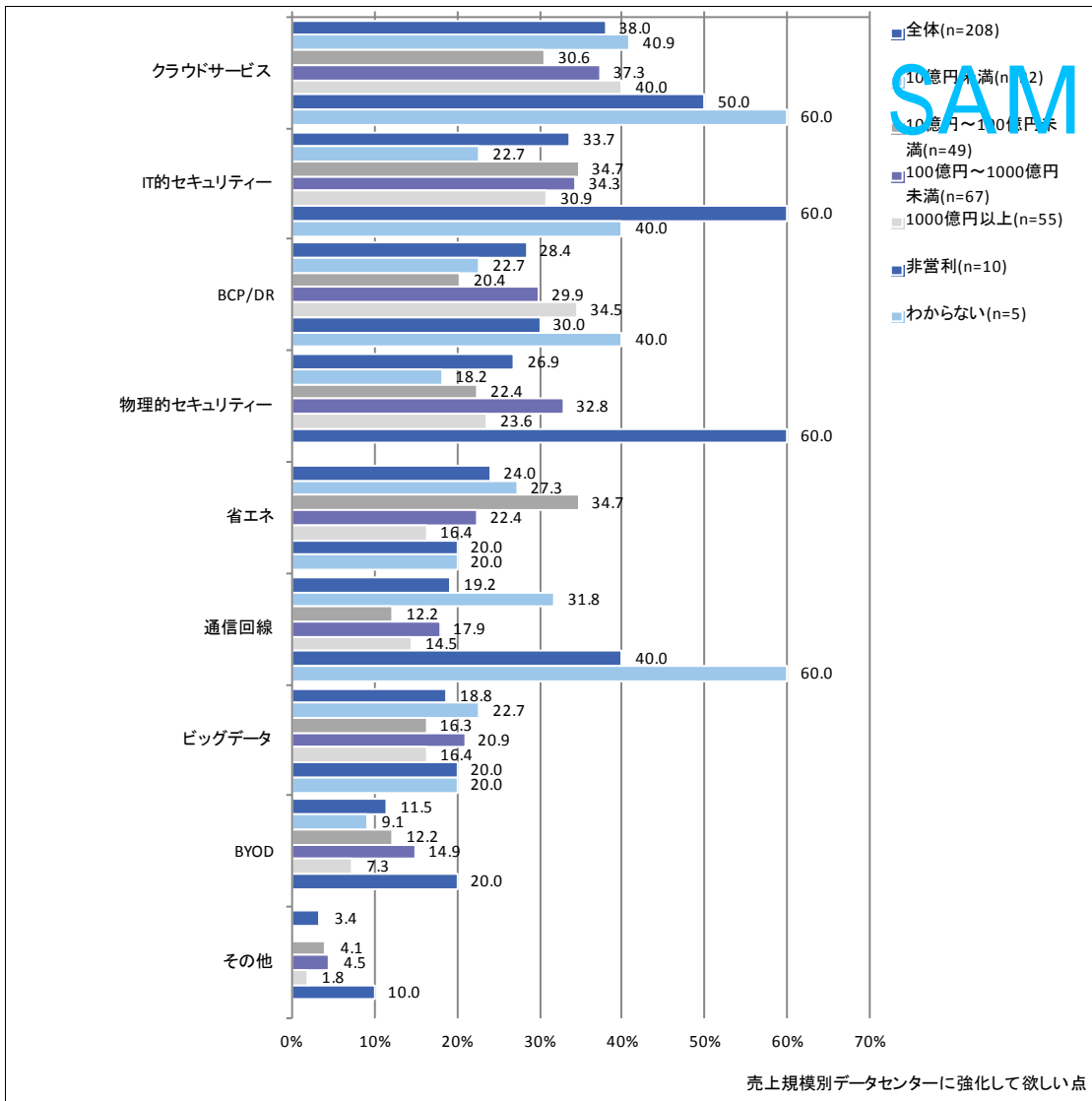
### 3.6.5 データセンターに強化して欲しい点

データセンターに強化して欲しい点は、トップは「クラウドサービス」(38.0%)で、続いて「IT的セキュリティ」(33.7%)。この2つは去年も要望が強く、ユーザー企業に同じ課題が横たわっている状況が続いている。昨年と比較するとほぼすべて項目が低下しているが、「BCP/DR」(28.4%)と「BYOD」(11.5%)はそれぞれ3ポイント、2.3ポイント増加している。

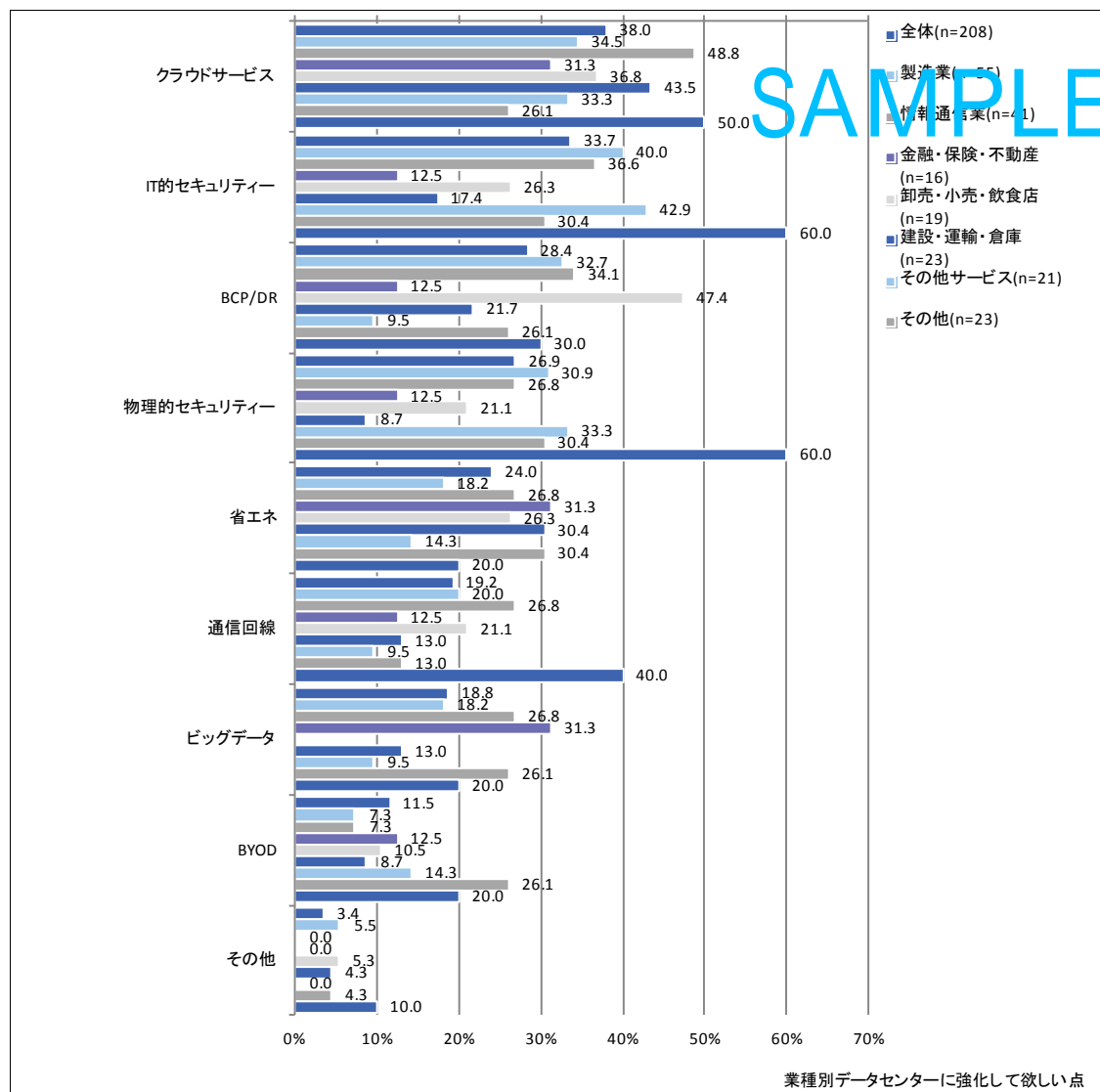
ユーザー企業の売上規模別に見ると、いずれの規模の企業でも「クラウドサービス」の比率は高いが、10億円～100億円未満の企業では「IT的セキュリティ」と「省エネ」が34.7%でトップとなっている。その他、1000億円以上の企業では「BCP/DR」が34.5%と高い比率となっている。



資料 3.6.17 データセンターに強化して欲しい点 (複数回答)

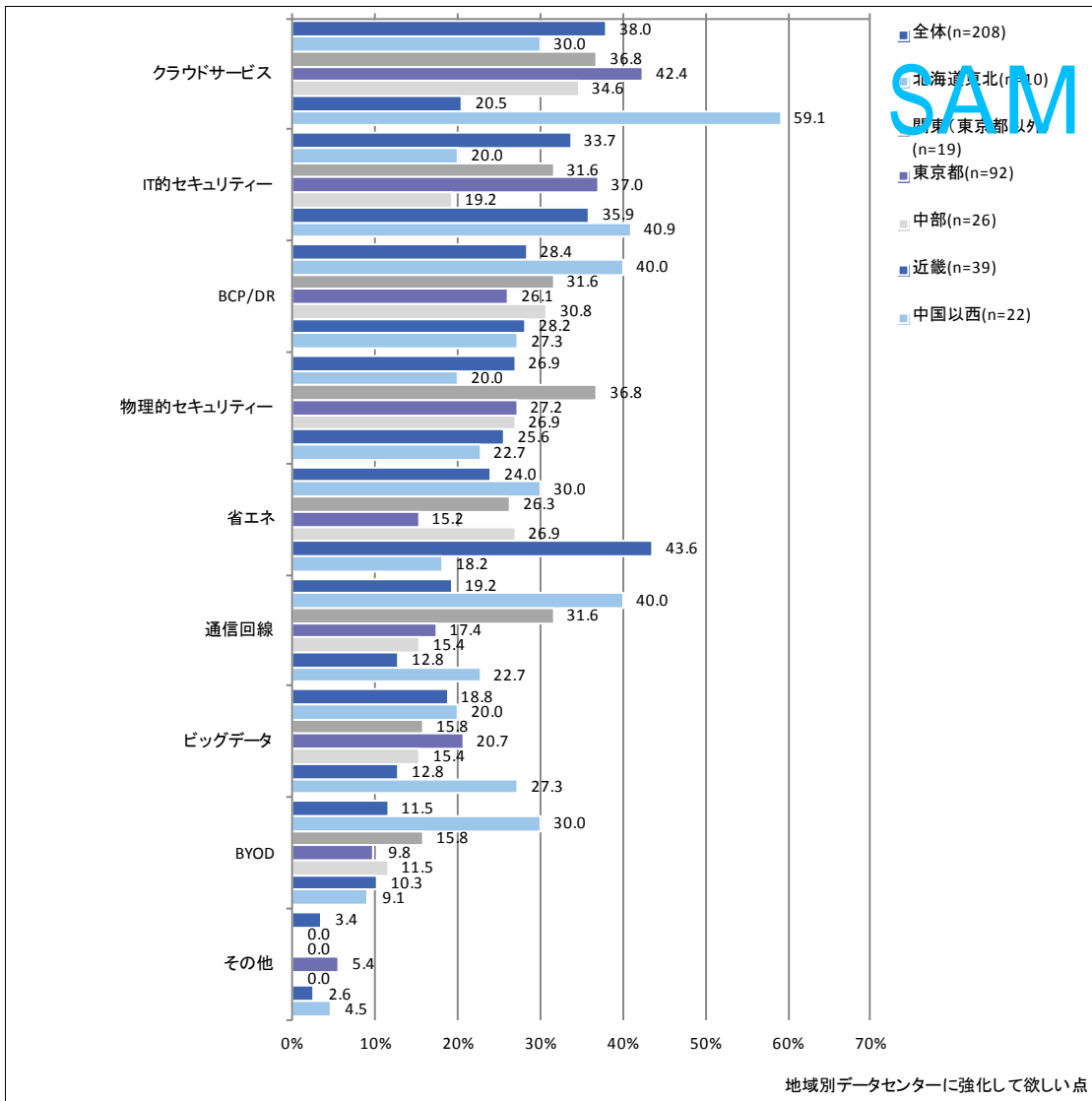


資料 3.6.18 売上規模別データセンターに強化して欲しい点（複数回答）



資料 3.6.19 業種別データセンターに強化して欲しい点（複数回答）





資料 3.6.20 地域別データセンターに強化して欲しい点 (複数回答)

## 第4章

# データセンターへ見積依頼・資料請求した担当者への調査

4.1	調査概要	210
4.1.1	調査概要	210
4.1.2	回答者（回答企業）のプロフィール	212
4.2	調査結果	214
4.2.1	資料請求・見積依頼後のデータセンターの採用状況	214
4.2.2	採用・不採用決定に至るまでの期間	215
4.2.3	初期費用	217
4.2.4	月額料金	218
4.2.5	採用にあたって重視する点	219
4.2.6	採用にあたってのハードル	220
4.2.7	採用を断念した理由	221

## 4.1 調査概要

# SAMPLE

### 4.1.1 調査概要

#### ■調査趣旨

- データセンターサービスを実際に採用するタイミングの検討担当者に対してアンケート調査を行い、採用した／しなかった／継続検討中などの結果や現状、想定予算や重視した点、採用にあたってのハードル（懸念点）など、比較・検討・採用決定現場の実際を把握することを目的としている。

#### ■調査対象

- 株式会社インプレスが運営する国内唯一の専門媒体「データセンター完全ガイド」のサイト (<http://www.impressRD.jp/idc/>) で提供しているデータセンターサービス「一括資料請求」または「一括見積依頼」（いずれも無料利用）を、2012年7月～2014年8月（約2年間）で利用した方が対象（※重複利用は名寄せし、いたずらや不正利用などは対象から除外）。

The screenshot shows the website interface for 'Data Center Complete Guide'. The main navigation bar includes 'IT Leaders', 'Web担当者Forum', 'Think IT', and 'Find-IT'. The header features a banner for 'データセンター完全ガイド' and 'IT部門はどう対処するか'. The main content area is divided into two primary sections: '資料請求' (Request for Information) and '見積依頼' (Request for Quote). Both sections offer a '簡単一括' (Simple One-Click) option. The '資料請求' section includes a list of providers such as NTTコミュニケーションズ, SCSC, KAGOYA DC+, and others. The '見積依頼' section also lists providers and includes a '最新記事' (Latest News) section at the bottom.

資料 4.1.1 データセンター完全ガイド (<http://www.impressRD.jp/idc/>)

■調査方法

- ・対象者にメールを送付し、Web上のアンケートフォームへ誘導。

SAMPLE

■有効回答数

- ・47人

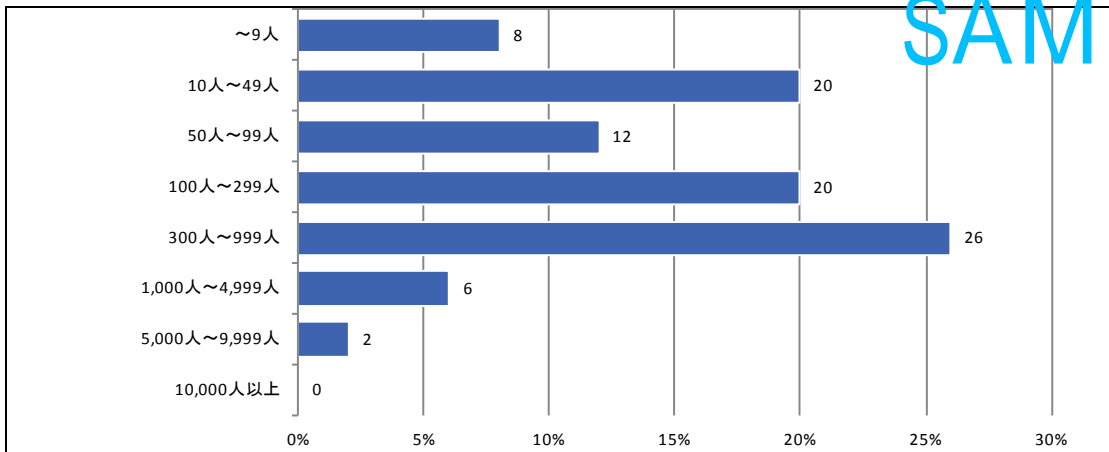
■調査期間

- ・2014年8月15日（金）～29日（金）

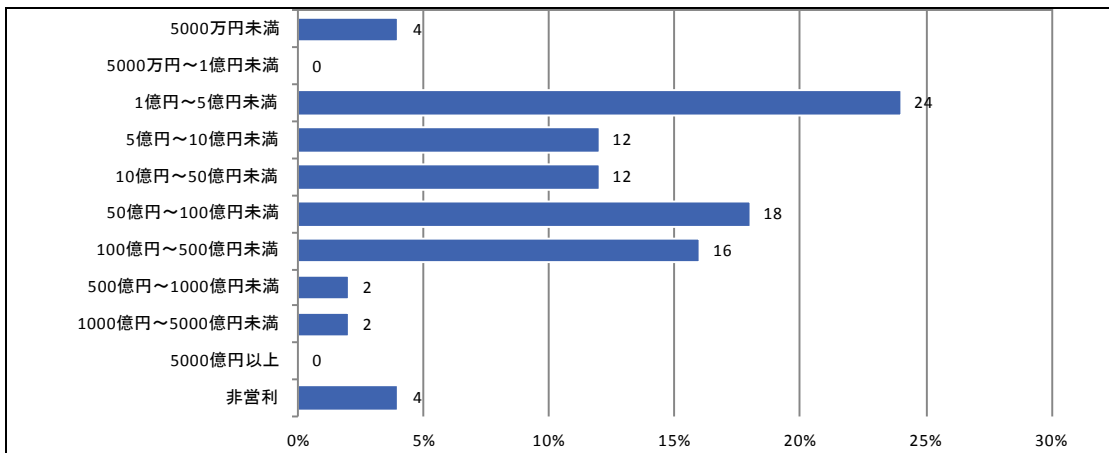
■留意事項

- ・アンケートは調査対象者全員に依頼しているが、全員から回答を収集できておらず（回収率は非公開）、調査結果には偏りが生じている可能性がある。
- ・回答者が属する企業によっては利用しているデータセンターサービス名といった情報が機密扱いとなっている場合もあり、サービスの採用（利用）が決まった対象者からの回答は少ない可能性が考えられる。

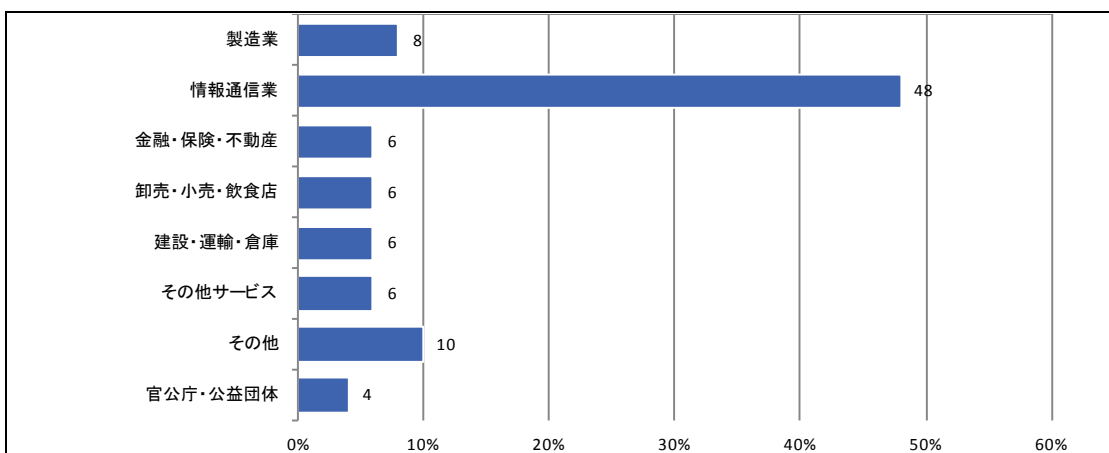
### 4.1.2 回答者（回答企業）のプロフィール



資料 4.1.2 従業員規模（プロフィール）



資料 4.1.3 売上規模（プロフィール）



資料 4.1.4 業種（プロフィール）

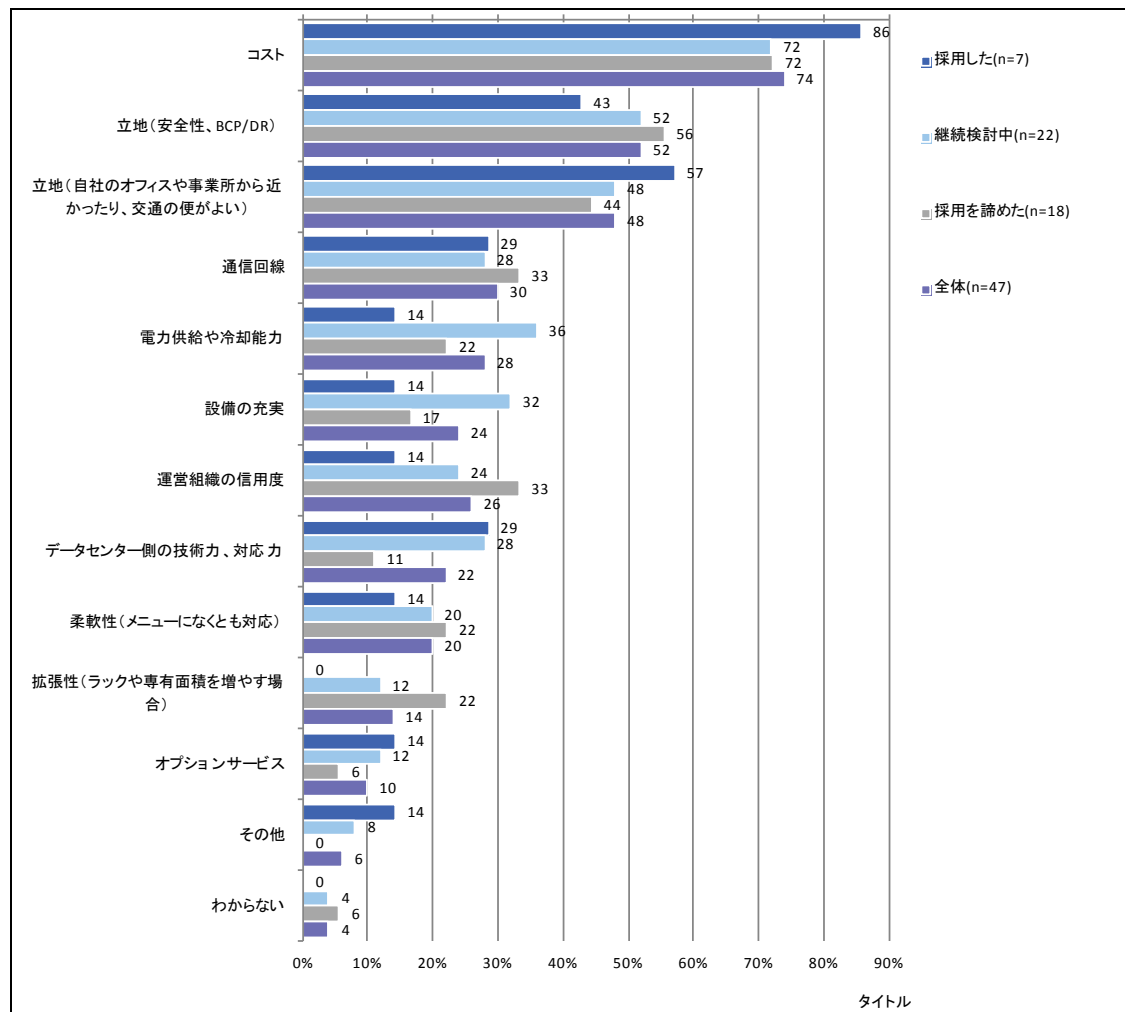
### 4.2.5 採用にあたって重視する点

データセンターの採用にあたって重視した（する）点では、「コスト」が74%で最も高く、「立地（安全性、BCP/DR）」が52%、「立地（自社のオフィスや事業所から近かったり、交通の便がよい）」が48%で、コストと立地面が重視されている。

採用状況別に見ても、おおまかな傾向は同じである。

その他としては、「セキュリティ」「トップの意向」「クラウドサービス併用」といった項目が挙げられている。

※「採用した」という回答はサンプル数が少ないので留意が必要である。



資料 4.2.9 採用にあたって重視する点

## 第5章

# データセンターサービス一覧 SAMPLE

@DACS-iDC.....	229
@PTOP.....	230
AiDC (アドバンスド・インターネットデータセンター) .....	231
AIR インターネットサービス.....	232
A-mode Secure DataCenter.....	233
at+link コロケーションサービス.....	234
BIGLOBE ハウジングサービス.....	235
Bit-isle iDC サービス.....	236
BizService インターネットデータセンター.....	237
BUSINESS ぶらら ハウジングサービス.....	238
CAC データセンターサービス.....	239
CODA ネットワークセンター.....	240
ComSpace I・II・III、ComSpace West.....	241
CTC データセンター.....	242
CVH ハウジングサービス.....	243
CWJ インターネットデータセンターサービス.....	244
CYBER-SPACE Service.....	245
D@TA Center (データセンター) .....	246
DataCenter.....	247
Data Center Service.....	248
DATAHOTEL.....	249
DataSync.....	250
DCN データセンターハウジングサービス (渋谷) .....	251
DNP 柏データセンター.....	252
DSK-IDC.....	253
DSR アウトソーシングサービス.....	254
EINS/VDC.....	255
EVOnet-iDC.....	256
EXFORT.....	257
FIT-iDC.....	258
FRT-iDC サービス.....	259

FSI データセンターサービス	260
H-IX Data Center	261
ICC データセンターソリューション	262
ICT-24ハウジングサービス	263
IDC フロンティア	264
IHI エスキューブ 豊洲データセンター	265
IJ データセンターサービス	266
IPS データセンター	267
i-TEC SERVER データセンターサービス	268
ITKeeper マネージド IT サービス	269
iTSCOM.net for Business	270
IT アウトソーシングサービス	271
IT アウトソーシングサービス (FJM 第二データセンター)	272
IT アウトソーシングサービス (大阪中央データセンター)	273
IXENT Co-Location Service	274
JIP アウトソーシングサービス	275
JSOL データセンターサービス	276
KAGOYA DC+	277
KoCoE インターネットデータセンタ	278
KRP データセンター	279
KS Solutions データセンター	280
KVH データセンター・サービス	281
MDA 大手町データセンター	282
MDC (MatsukeiDataCenter)	283
Me@Gle	284
merisis データセンターサービス	285
MIND iDC サービス	286
MKI 東京西データセンター	287
naBic IDC Service	288
NET LINK 伊万里	289
netXDC	290
Nexcenter	291
NEXSOURCING (ネクサソーシング)	292
NI+C システム運用サービス	293
NISSHO データセンター	294
N-Plus	295

SAMPLE



NP データセンターサービス .....	296
NRI ネットコム データセンターサービス .....	297
NSW データセンターサービス .....	297
NTTDATA 堂島 MMR (Meet-Me-Room) .....	299
NTT コムウェア .....	300
NTT コムウェア北海道 グリーンプレースサービス.....	301
NTT 西日本 .....	302
NTT 東日本データセンター.....	303
NTT ビズリンク nDC.....	304
Pacnet Data Center Services .....	305
RenbirdDataCenter.....	306
SaaSes ハウジングサービス .....	307
SaiNet iDC .....	308
S-CUBE iDC.....	309
SG システム ハウジングサービス.....	310
S-Port データセンターサービス .....	311
SRI ハウジングサービス .....	312
STNet インターネットデータセンターサービス.....	313
TCS データセンター.....	314
TELEHOUSE.....	315
TOPICA コロケーション.....	316
U-Cloud アウトソーシングサービス.....	317
UCOM データセンター .....	318
USEN BROAD-GATE 02 ビジネス iDC .....	319
WADAX ハウジングサービス .....	320
WebARENA Symphony .....	321
ZAQ サーバハウジングサービス.....	322
アイアット OEC データセンターサービス .....	323
アイネット.....	324
アイフォート・データセンター .....	325
旭化成ネットワークスデータセンター .....	326
アット東京.....	327
アールワークス マネージドサービスセンター (MSC) .....	328
イーツ.....	329
インターナップ・プレミアムコロケーション.....	330
宇部 iDC.....	331

SAMPLE

エクイニクス・ジャパン	332
エクステーション (インフォコムデータセンターサービス)	333
エヌシーアイ データセンターサービス	334
エムアンドシーシステム データセンターサービス	335
おおさか iDC	336
大塚商会 iDC	337
沖縄 GDC	338
オービス総研データセンターサービス	339
キッズウェイ iDC サービス	340
キャッツインターネットハウジングサービス	341
キヤノン IT ソリューションズ (システムマネジメントサービス)	342
キューデンインフォコムデータセンター	343
業務システムお預かりサービス	344
クロネコデータセンターサービス	345
グリーンデータセンタ 共通 IT 基盤サービス ACORE	346
群馬データセンター	347
ケイ・オブティコム データセンターサービス	348
ケイズアウトソーシングセンター	349
京阪神ビルディング IDC	350
コアクラウドセンター	351
コムチュアマネージドサービス	352
コロケーションサービス	353
コロケーションサービス	354
さいたま iDC	355
佐賀 IDC データセンターサービス	356
さくら UTOPIA アウトソーシングサービス	357
さくらインターネット データセンターサービス	358
サービスソリューションセンター	359
シティアスコム データセンターサービス	360
新日鉄住金ソリューションズ 統合データセンター	361
スカイアーチ・ハウジングサービス	362
セキュアデータセンター	363
セキュアデータセンター山陰、鳥取	364
センチュリーリンク グローバル コンピューティング サービス	365
ソネットデータセンター	366
ソフトクリエイト・データセンターサービス・iDC MAX	367

SAMPLE

テクノセンター .....	368
データセンターアウトソーシングサービス .....	369
データセンタ・アウトソーシングソリューション .....	370
データセンター・サービス .....	371
データセンターサービス .....	372
データセンターサービス .....	373
データセンターサービス .....	374
データセンターサービス .....	375
データセンター&システム運用ソリューション .....	376
トランスネット データセンターサービス .....	377
にしてつデータセンター .....	378
日経 DMC.....	379
ネットフォレスト・データセンター .....	380
ハウジングサービス .....	381
ハウジングサービス .....	382
ハウジングサービス「blue Case」 .....	383
バリューコア 大阪梅田 iDC.....	384
パワー・アンド・IT データセンター .....	385
富士通.....	386
フューチャーデザイン iDC サービス .....	387
フリービットクラウド VDC (バーチャルデータセンター) .....	388
ブロードセンター .....	389
ブロードバンドタワー データセンターサービス .....	390
ベッコアメ・ハウジングサービス .....	391
ベライゾンデータセンターソリューション .....	392
マネージドハウジング .....	393
マネージドハウジングサービス .....	394
三菱総研 DCS.....	395
宮崎 IT ビジネスソリューションセンター .....	396
ミライデータセンター .....	397
メディアコネクト .....	398
ラックハウジングサービス .....	399
両毛インターネットデータセンター .....	400
レキサス iDC.....	401

SAMPLE

※サービス名の「記号」「アルファベット」「読みの五十音」順で掲載している

【各項目の解説】

① 事業者名:

② 連絡先  
 電話番号: FAX: メール:

③ 基本スペック  
 回線総量 :  
 接続 (IX, ISP) :  
 所在地 :  
 総床面積 :  
 総ラック数 :  
 稼働サーバー数 :  
 常駐スタッフ数 :  
 入退室認証 :  
 セキュリティ認証 :  
 顧客例 :

④ 月額料金  
 ■ラック月額  
 1U :  
 1/4ラック :  
 1/2ラック :  
 1ラック :  
 5ラック :  
 ●回線月額  
 ●共有 :  
 1Mbps :  
 10Mbps :  
 100Mbps :  
 ●特約 :  
 1Mbps :  
 10Mbps :  
 100Mbps :  
 1Gbps :

⑤ 提供サービス  
 専用サーバーレンタル ○ ネットワークセキュリティ ○ ウイルス対策 ○  
 サーバー保守運用 ○ ストレージ ○ EC支援・サイト構築 ○  
 防火設備 ○ バックアップ ○ 24時間障害対応 ○  
 耐震設備 ○ システム開発 ○ ディザスタリカバリ ○  
 発電設備 ○ IPv6 ○ サービス種別条件 ○

⑥ 特色・営業展開等

⑦ その他サービス・備考



①基本情報

◇サービス名  
 提供するデータセンターサービスの名称 (またはブランド名) サービス自体の名称がない場合は事業者名のみを記載  
 ◇事業者名  
 データセンターサービスを提供・運営している組織・事業者の名称

②連絡先

◇URL  
 データセンターサービスを紹介・説明しているページ (またはサービス提供者のホームページ)  
 ◇電話番号/FAX/メール  
 ユーザーからのサービスに関する問合せ先

③基本スペック

◇回線総量  
 IX や ISP へ接続したインターネット (IP) 回線量 (帯域) の合計  
 ◇接続 (IX, その他)  
 バックボーンとして利用している IX (インターネットエクスチェンジ) とその回線帯域  
 その他、データセンターが直接加入者として利用している ISP とその回線帯域  
 ◇所在地  
 データセンター施設の所在地 (事業所ではない)  
 ◇総床面積  
 データセンター施設内でユーザーに提供されるエリアの広さ (平方メートル)、データセンターが複数ある場合は全体の総計  
 ◇総ラック数  
 データセンター内に設置可能なラックの最大数  
 ◇稼働サーバー数  
 現在、実際に動作中のサーバー数 (概数)  
 ◇常駐スタッフ数  
 データセンター施設内に常駐している監視を行うスタッフ数 (概数)

◇入退室認証  
 入退室の方法 (ID カード、生体認証による認証など)  
 ◇セキュリティ認証  
 ISO20000 (ITMS) や ISO27001 (ISMS)、プラットフォームマークなど各種の認証取得状況  
 ◇顧客例  
 具体的な利用顧客 (名前が出せない場合は、業種など)

④月額料金

ラック/回線の月額利用料金 (税込み)、共有回線はベストエフォート、専用回線は帯域保証。従量制・固定性、品質別コースなどがある場合は、一番シンプルなものを掲載

⑤提供サービス

※標準、追加オプション問わず、提供可能なものは「○」  
 ◇専用サーバーレンタル  
 専用サーバーのレンタルサービス  
 ◇サーバー保守運用  
 データセンター内に設置したサーバー (ユーザー持ち込み含む) の基本的な保守運用  
 ◇防火設備  
 データセンター用途に特化した火災対策や消火設備  
 ◇耐震設備  
 データセンター用途に特化した地震対策や耐震設備  
 ◇発電設備  
 データセンター用途に特化した停電対策や電源・発電設備  
 ◇ネットワークセキュリティ  
 アクセス監視、ファイアウォールの設定、IDS/IPS の装備など  
 ◇ストレージ  
 SAN や NAS といったストレージの提供・運用・管理サービス  
 ◇バックアップ  
 ユーザーのサーバーにあるデータバックアップサービス  
 ◇システム開発  
 システムインテグレーションやコンサルティングサービス

◇IPv6

ルーティングなどネットワークの設備や運用の IPv6 プロトコルへの対応  
 ◇ウイルス対策  
 ウイルスに対してセキュリティホールへの対処を含めた検出と駆除  
 ◇EC 支援・サイト構築  
 決算システムを含む EC 利用に特化したサイト構築サービス  
 ◇24 時間障害対応  
 24 時間体制の障害監視・通知・対応サービス  
 ◇ディザスタリカバリ  
 大規模な災害に備えて遠距離にあるバックアップセンターなどにデータを保管したり、サーバーを二重化したりするサービス  
 ◇サービスの保証条件  
 データセンターのネットワークトラブルや管理するサーバーの停止時などについての保証が契約条件に含まれているかどうか (例: 「ダウンタイムが〇〇分以上生じた場合は料金を〇〇%減額する」など)

⑥特色・営業展開等

提供するデータセンターサービスの概要や特色、また関連する事業や営業展開など

⑦その他サービス・備考

定型項目に書けなかったことの補足やその他の提供サービス、特記事項など

## @DACS-iDC

事業者名 : DACS

SAMPLE

## 連絡先

電話番号 : 06-6203-1441 FAX : 06-6203-2301 メール : dacs\_idc@dacs.co.jp

## 基本スペック

回線総量	: 非公開
接続 (IX, ISP)	: 非公開
所在地	: 東京 23 区内、大阪市内
総床面積	: 約 4,000 m <sup>2</sup>
総ラック数	: 非公開
稼働サーバー数	: 非公開
常駐スタッフ数	: 拠点により異なる
入退室認証	: 有人対応、生体認証、共連れ防止
セキュリティ認証	: ISO 20000、ISO 27001、プライバシーマーク、FISC 及び JEITA の安全対策基準適合 (JQA 認定)
顧客例	: 製造業、金融業、保険業、学校、自治体、公団体

## 月額料金

<b>■ラック月額</b>		<b>■回線月額</b>		<b>●専有</b>	
1U	: —	<b>●共有</b>		<b>●専有</b>	
1/4 ラック	: 31,500 円	1Mbps	: —	1Mbps	: 個別見積
1/2 ラック	: 49,700 円	10Mbps	: —	10Mbps	: 個別見積
1 ラック	: 84,300 円	100Mbps	: —	100Mbps	: 個別見積
5 ラック	: 個別見積			1Gbps	: —

## 提供サービス

専用サーバーレンタル	—	ネットワークセキュリティ	○	ウイルス対策	○
サーバー保守運用	○	ストレージ	—	EC 支援・サイト構築	○
防火設備	○	バックアップ	○	24 時間障害対応	○
耐震設備	○	システム開発	○	ディザスタリカバリ	○
発電設備	○	IPv6	—	サービス補償条件	○

## 特色・営業展開等

銀行関連会社として誕生し、約 30 年にわたって金融機関をはじめとした 800 社以上のさまざまな顧客の業務システム運用に携わる。金融機関の監査事務を経験した銀行 OB 職員によるセキュリティ診断・運用診断サービスも手がけており、その実績と業務システム運用ノウハウを集結した高品質なサービスを提供する。

## その他サービス・備考

<b>■iDC</b>
ハウジングやコロケーションをはじめ、大型計算機の運用も可能。
<b>■BPO</b>
大量印刷から加工・封入・封緘を 1 フロアのセキュアな環境で実施。各種バックオフィス業務にも対応。
<b>■ビジネスソリューション</b>
システム構築／運用に関するコンサルティングから実運用まで、トータルに支援。
<b>■MSP</b>
サーバー統合監視や各種オペレーションを提供。
<b>■セキュリティ</b>
ウイルス対策などからセキュリティ診断まで、さまざまなサービスを提供。

## @PTOP

事業者名：沖電気工業

SAMPLE

連絡先		
電話番号：03-5439-6579	FAX：—	メール：info@ptop.ne.jp

基本スペック	
回線総量	：—
接続（IX, ISP）	：—
所在地	：東京都内
総床面積	：—
総ラック数	：—
稼働サーバー数	：—
常駐スタッフ数	：—
入退室認証	：ICカード、生体認証
セキュリティ認証	：ISO 20000、ISO 27001
顧客例	：—

月額料金			
■ラック月額		■回線月額	
1U	：10,800円～	●共有	
1/4ラック	：95,040円～	1Mbps	：個別見積
1/2ラック	：142,560円～	10Mbps	：個別見積
1ラック	：236,520円～	100Mbps	：個別見積
5ラック	：1,080,000円～		
		●専有	
		1Mbps	：個別見積
		10Mbps	：個別見積
		100Mbps	：個別見積
		1Gbps	：個別見積

提供サービス					
専用サーバーレンタル	—	ネットワークセキュリティ	○	ウイルス対策	○
サーバー保守運用	○	ストレージ	—	EC支援・サイト構築	○
防火設備	○	バックアップ	—	24時間障害対応	○
耐震設備	○	システム開発	—	ディザスタリカバリ	×
発電設備	○	IPv6	○	サービス補償条件	○

特色・営業展開等
エンタープライズ向けiDC。標準仕様だけでなく個別の要望にも対応可能。インターネット接続は、従量課金にも対応しているため、コンテンツ配信事業者にも適している。ファイアウォールやルーターなどの機器運用のアウトソーシングサービスも提供可能。

その他サービス・備考
ラック料金には、電源1系統とping監視を含む。また、サーバーリソース監視、SI構築、ドメイン名/IPアドレス申請代行、ホスティングサービス（メール/ウェブ/DNS/ウイルスチェックなど）、テクニカルサポートも提供。

# AiDC (アドバンスド・インターネットデータセンター)

事業者名：ビーコンエヌシー

SAMPLE

## 連絡先

電話番号：03-6222-8835 FAX：03-6222-8836 メール：sales@benc.jp

## 基本スペック

回線総量	: —
接続 (IX, ISP)	: —
所在地	: 東京都千代田区大手町、中央区新川、大田区平和島、新宿区西新宿
総床面積	: 約 700 m <sup>2</sup>
総ラック数	: 120
稼働サーバー数	: —
常駐スタッフ数	: —
入退室認証	: IC カード、有人対応
セキュリティ認証	: ISO 27001
顧客例	: 非公開

## 月額料金

■ラック月額		■回線月額			
1U	: 21,600 円	●共有	●専有		
1/4 ラック	: 個別見積	1Mbps	: ×	1Mbps	: 個別見積
1/2 ラック	: 個別見積	10Mbps	: 個別見積	10Mbps	: 個別見積
1 ラック	: 個別見積	100Mbps	: 個別見積	100Mbps	: 個別見積
5 ラック	: 個別見積			1Gbps	: 個別見積

## 提供サービス

専用サーバーレンタル	○	ネットワークセキュリティ	○	ウイルス対策	○
サーバー保守運用	○	ストレージ	○	EC 支援・サイト構築	○
防火設備	○	バックアップ	○	24 時間障害対応	○
耐震設備	○	システム開発	○	ディザスタリカバリ	○
発電設備	○	IPv6	○	サービス補償条件	—

## 特色・営業展開等

2010 年 7 月 17 日に親会社のアイ・ティー・コンサルティングと合併し、新生「株式会社ビーコンエヌシー」として発足。データセンター設立支援・運用支援や 7 年以上にわたる仮想化サーバー運用支援、WIDE プロジェクトとの IPv6 共同研究など、豊富な経験と高い技術力をもつスタッフが最高レベルに管理する仮想専用サーバーサービスを低価格で提供する。

## その他サービス・備考

- 高度な事業継続性
  - ・災害時にも安定稼働を保證する設備 (1/8 免震)
  - ・電力引き込みと非常時電力の冗長化
  - ・高度な物理的セキュリティシステム
- ネットワーク
  - ・キャリアフリー
  - ・商用 IX のルートサーバー開発・運用
- ラック
  - ・大容量電源供給 (4k~8kVA)
  - ・高度な冷却マネージメント
- サービス
  - ・経験豊富なエンジニアが 24 時間 365 日常駐
  - ・マネージドサービス
  - ・ハイブリッドホスティングサービス

# AIR インターネットサービス

事業者名：エアネット

SAMPLE

連絡先		
電話番号：03-6717-5856	FAX：03-6717-5711	メール：sales@air.ad.jp

基本スペック	
回線総量	: 3.2Gbps
接続 (IX, ISP)	: dix-ie 1Gbps、KDDI 1Gbps、NTT コミュニケーションズ 1Gbps、KVH 100Mbps、Pacnet 100Mbps
所在地	: 東京都千代田区、江東区
総床面積	: —
総ラック数	: —
稼働サーバー数	: —
常駐スタッフ数	: —
入退室認証	: 磁気カード、ICカード、指紋認証
セキュリティ認証	: ISO 27001
顧客例	: —

月額料金			
■ラック月額		■回線月額	
1U	: 個別見積	●共有	●専有
1/4 ラック	: 個別見積	1Mbps	: ラック月額に含む
1/2 ラック	: 個別見積	10Mbps	: ラック月額に含む
1 ラック	: 個別見積	100Mbps	: 個別見積
5 ラック	: 個別見積		1Mbps
			: 個別見積
			10Mbps
			: 個別見積
			100Mbps
			: 個別見積
			1Gbps
			: 個別見積

提供サービス					
専用サーバーレンタル	○	ネットワークセキュリティ	○	ウイルス対策	○
サーバー保守運用	○	ストレージ	○	EC 支援・サイト構築	○
防火設備	○	バックアップ	○	24 時間障害対応	○
耐震設備	○	システム開発	○	ディザスタリカバリ	○
発電設備	○	IPv6	×	サービス補償条件	○

特色・営業展開等
設計・構築から運用開始後の監視・障害対応まで行うフルマネージド型ホスティングサービスを提供。サーバー1 台での運用からロードバランサを利用した複数台冗長構成まで幅広く対応。仮想化+専用サーバー構成による「AIR プライベートクラウド」も提供を開始した。

その他サービス・備考
■ マネージド専用サーバーサービス
■ ALL in One メール Lite / Pro / Gateway
■ サイボウズ ガルーン3 運用サービス



# SAMPLE

[監修]

## 完全ガイド編集部

---

「データセンター完全ガイド」は、インプレスグループでIT関連出版メディア事業、及びパートナー出版事業、デジタルメディア&サービス事業を展開する株式会社インプレスが運営する、国内最大級のデータセンター専門情報サイト。国内のデータセンターをほぼ網羅した170以上のサービス情報が登録されており、データセンター選定の際に必要な情報収集から、各事業者への資料請求、見積依頼などがワンストップで利用できる。また、雑誌版の『データセンター完全ガイド』を季刊にて発行。双方を利用することにより、データセンター及びその選定に関するさまざまな情報を入手することができる。

[調査・編]

## インプレス総合研究所

---

インプレスグループのシンクタンク部門として2004年に発足。2014年4月に、現在の「インプレス総合研究所」へ改称。インターネットに代表される情報通信 (TELECOM)、デジタル技術 (TECHNOLOGY)、メディア (MEDIA) の3つの分野に関する理解と経験をもとに、いまインターネットが起こそうとしている産業の変革に注目し、調査、研究を実施している。メディアカンパニーとしての情報の吸収力、取材の機動力を生かし、さらにはメディアを使った定量調査手法と分析を加えて、今後の市場の方向性を探り、調査報告書の発行、カスタム調査、コンサルティング、セミナー企画・主催、調査データ販売などを行っている。

## STAFF

---

◎ AD/デザイン

◎ 分析アナリスト

◎ 編集協力

◎ 調査企画・設計・分析

インプレス総合研究所

岡田 章志

池田 健二 [ ikeda@impress.co.jp ]

狐塚 淳 [ kozuka@cguild.net ]

渡邊 利和

柴谷 大輔 [ sibatani@impress.co.jp ]

● 本書の内容についてのお問い合わせ先

株式会社インプレス メール窓口  
report-info@impress.co.jp

件名に「『データセンター調査報告書 2014』お問い合わせ係」と明記してお送りください。

電話やFAX、郵便でのご質問にはお答えできません。返信までには、しばらくお時間をいただく場合があります。なお、本書の範囲を超える質問にはお答えしかねますので、あらかじめご了承ください。

● 商品のご購入についてのお問い合わせ先

株式会社インプレス 法人営業局 営業統括部 調査報告書担当  
〒102-0075 東京都千代田区三番町 20 番地  
TEL 03-5275-9040  
FAX 03-5213-6297  
report-sales@impress.co.jp

造本には万全を期しておりますが、万一、落丁・乱丁およびCD-ROMの不良がございましたら、送料小社負担にてお取り替えいたします。「株式会社インプレス」までご返送ください。

SAMPLE

本サンプル版の利用について

本サンプル版の配布やWebサイトへのアップロードなどの行為について特に制限はございません。ご自由にご利用ください。掲載データの利用については、下記「■データの利用にあたって」の記述に準じます。ご参照ください。

なお、本サンプル版を販売するなどの商業利用は禁止いたしますのであらかじめご了承ください。

ご注文は今すぐクリック

- お支払い方法：銀行振込（ご請求書をお送りします）
- 納期：[法人] ご発注後、3営業日以内 [個人] ご入金確認後発送

## データセンター調査報告書 2014

2014年9月22日 初版発行

監修 データセンター完全ガイド  
編者 インプレス総合研究所  
発行人 中村 照明  
発行所 株式会社インプレス  
〒102-0075 東京都千代田区三番町 20 番地  
<http://www.impress.co.jp/>

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部について株式会社インプレスから文書による許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写、複製することは禁じられています。